

令和7年度 事業報告書

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

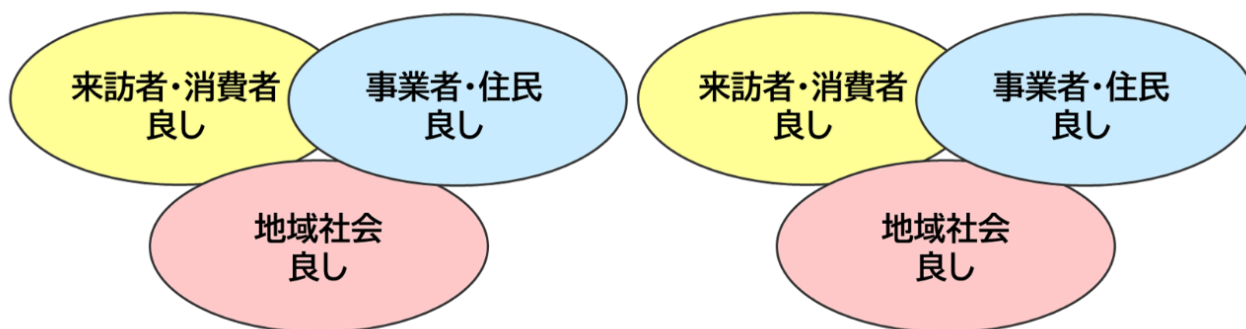
1 令和7年度 基本理念、及び基本方針

1-1 基本理念

1 基本理念・使命

「いま」と「未来」の三方良し

いま良し = 少し先の未来良し



「いま」と「少し先の未来」を意識した取組みを！

1-2 基本方針

～戦略基本方針テーマ～
ともに、地域貢献・価値創造

① 外貨獲得

- ✓ 来訪者に地域で消費してもらえる仕組みを作る。
- ✓ 消費者に福島市産品を購入してもらえる仕組みを作る。
- ✓ 都市部住民に福島市に寄付、投資をしてもらえる仕組みを作る。

③ 関係人口拡大

- ✓ 共感来訪人口を増やす仕掛けを作る。
- ✓ 共感消費人口を増やす仕掛けを作る。
- ✓ 共感投資人口を増やす仕掛けを作る。
- ✓ ファンプール・タレントプールを作る。

② 内発循環

- ✓ 地域事業者と競合せず、地域イノベーションに寄与するビジネスモデルを作る。
- ✓ 獲得した外貨が地域で循環する仕組みを作る。
- ✓ 市民から見れば「無価値」の商材を高付加価値化する。
- ✓ 循環の担い手を作り、ビジネスを成長させる仕組みを作る。
- ✓ 上記を持続的に支えるエコシステムを整える。

④ 認知・理解・共感獲得

- ✓ 認知者を増やす仕掛けを作る。
- ✓ 理解者を増やす仕掛けを作る。
- ✓ 共感者を増やす仕掛けを作る。
- ✓ 認知から共感、共感から行動のジャーニーを作る。

⑤ 社会課題解決

- ✓ 社会課題とは、資本主義や民主主義による全体最適戦略の歪みのなかで解決が急がれるもの
- ✓ 個別にアクセスして不利益の解決をすることを「社会課題解決」と呼ぶ

1-3 2025年度基本方針

1 2025年度当会方針

基本方針

地域を愛し、ともに歩む 「DMO福島市モデル」の創造

今年は、VISION2025(2023年～3年間の中期経営計画)最終年。

全国的な観光需要の回復、再活発化により、世界中が様々なモノ・コト(指数関数的な技術進歩、ビジネススタンダード、ライフスタイル、人生観等)が様変わりしてきています。また、近年の政情不安や戦争などによる経済の停滞による、特に日本の世界における価値の低下が懸念されるところです。福島市も同様、少子高齢化、人口減少といった解決の見通しすら立たない問題も、ビジネス環境の停滞に拍車をかける要因となっており、今後より抜本的なビジネスモデルの改革が必要な状況と考えます。

一方、観光業においては、インバウンドを始めとして、日本全体の経済成長を支えるためのポジション分野として、明確に国家戦略に組み込まれるまでとなり、地域の観光まちづくりを担うDMOの重要性が表立って叫ばれるようになってきています。

改めて、当協会の理念及び活動方針を。

「いま」と「未来」の三方良し

外貨獲得 ・ 内発循環 ・ 関係人口拡大 ・ 認知/理解/共感獲得 × 社会課題解決

1

1-4 2025年度戦術方針

2 2025年度活動方針

1. 外貨獲得(デジタル・アナログ・融合型を問わず、消費の個人化に対応してしっかりと稼ぐ仕組みづくり)

- ① MICE誘致の推進。市場環境に囚われない福島市だからこそそのMICE開催の認知獲得向上。
- ② 徹底した女性視点マーケティングに基づく、来訪者誘引・消費向上の仕組みづくり(ビーチホリデーへの集中的展開)
- ③ 時流に残されないインバウンド誘客活動の強化
- ④ 経験価値創出による顧客満足度と消費向上の仕組みづくり・販売流通環境整備と連携強化
- ⑤ DMOポジションを活用した観光庁大型補正・当初予算獲得による個社経営強靱化および地域力強化

2. 内発循環(多様なビジネスモデルによる持続的な地域経済循環モデルづくり)

- ① ふるさと納税25億円への挑戦(2023年度:14億 2024年度:21.5億)
- ② CRMを活用した地域経済波及、循環への寄与への挑戦(データ分析環境の強化)
- ③ 経験価値を提供するコンテンツ創出による経済波及および循環効果向上の仕組みづくり
- ④ ふるさと納税と来訪者データ分析および戦術融合による経済波及効果向上の仕組みづくり

3. 関係人口拡大(消費者・来訪者との関係深化による地域課題の解消や地域価値創出)

- ① 専門人材・機関との協業による地域データの総合分析力強化と効果的な誘客や消費向上の仕組みづくり
- ② 自社オウンドメディアとおもてなし交流拠点の戦術融合による経済波及効果向上の仕組みづくり
- ③ バリアフリーツアーセンターの知見を具現化した各業界との連携の促進と福島市「誰にでもやさしいまち ふくしま」推進

4. 認知・理解・共感獲得(デジタル～リアルまで通貫した認知・理解・共感を意識した仕組みづくり)

- ① オウンドメディアとおもてなし交流拠点型案内所の戦術融合による経済波及効果向上の仕組みづくり(再掲)
- ② 時流に残されないインバウンド誘客活動の強化
- ③ 市民を愛し、愛されるDMOへの挑戦
- ④ 「福島市=ビーチホリデー」のブランド認知強化と既存顧客へのさらなる関係深化
- ⑤ ULSSAS(認知→LIKE獲得→検索(SNS検索、検索エンジン)→購買→拡散)による共感獲得型の施策(サービス、商品、企画)の実現

2

1-5 2025年度基本方針-基本目標

戦術基本目標(成果検証指標)2025年度

《2025年 戦略評価指標①(KGI)》

地域貢献ROI: 10.00 (投資額の10倍の波及効果創出)

(参考)2023年ROI:11.8/2022年ROI:10.1/2021年ROI:9.70/2020年ROI:7.27

算出方法:波及効果(直接効果+間接効果)÷投資額(事業執行額+人件費)

※主要目標を『ROI』とした理由:地域貢献(外貨獲得と内発循環)の効果を簡便に測定するため。

《2025年 戦略評価指標②(KGI)》

平均消費額 25,827円/TB度:50%

(参考)2019年平均消費額24,366円/平均満足度63.2% ※コロナ前年数値を基準値とする。

※上記算出データ:通年型宿泊者アンケート調査(ありがとうキャンペーン)で収集するもの

※TB(Top Box)とは、顧客の満足度を測るようなアンケート調査における最も好意的な選択肢のこと。

《2025年 戦術評価指標(KPI)》

達成率100% (★★指標)

(参考)2022年 KPI達成率 141.3%(47指標)

※個別事業KPI詳細は事業内容策定時に設定

3

2 ROIおよびKPI総括評価

2-1 地域貢献ROI（平均値）

- ・目 標：10.0（投資額の10倍波及効果創出）
- ・実 績：13.2（算出根拠：2,556,530千円÷193,361千円）

※業務委託事業については、ふるさと納税事業を除き算出対象外としている。

2-2 平均消費額、満足度

【平均消費額】 目 標：25,827円 / 実 績：31,928円

【満 足 度】 目 標： 50% / 実 績： 47.3%

※計測根拠：宿泊者向け満足度調査（当協会実施）

※平均消費額は、宿泊料金平均値（2名1室/1泊2食付の1名分料金）と現地消費額の合計

※満足度は7段階評価のうち、最高評価「非常に満足」と回答した人の割合

2-3 個別事業KPI目標達成率（32指標の平均値）

- ・目 標： 100%
- ・実 績： 104.8%

2-4 事業別KPI達成状況

- ・受託事業（1指標）： 91.7%
- ・収益事業（7指標）： 135.0%
- ・外貨獲得戦略事業（10指標）： 89.4%
- ・関係人口拡大戦略事業（2指標）： 125.0%
- ・認知/理解/共感獲得戦略事業（10指標）： 94.3%
- ・MICE誘致戦略事業（2指標）： 115.8%

2-5 ROIおよびKPIの考え方

①地域貢献ROI（Return On Investment/投下資本利益率）算出方法

（地域貢献効果／直接効果＋間接効果）÷（投下額／事業費＋人件費）

- ・直接効果：主に経済効果 ・間接効果：主にコマーシャル効果
- ・目標を『ROI』とした理由：当会の存在意義は地域への貢献であるためROI数値が大きいほどレバレッジが効いている（貢献効率が低い）状態を意味する。
- ・例：ROI『7.0』とは投下額1億円で、地域貢献効果が7億円におよぶ状態のこと。

②KPI（Key Performance Indicator/重要達成度指標）設定方法

- ・KPI設定方法はOKR（Objectives and Key Results/目標と主要な結果）に拠る。
- ・OKRとは、当会目標ROI『10.0』を達成するために講じる手段に対してKPI設定し、常に検証や補正を行う目標達成アプローチである。

2-6 ROIおよびKPI総括評価

①ROI（主要評価指標）

地域DMOとして、地域貢献及び価値創造を基本戦略に事業を展開した結果、目標ROI「10.0」に対し、「13.2」を達成した。

特に、M I C E誘致支援事業については、観光庁作成モデルに基づく効果測定を行った結果、直接効果及び間接効果を含めたR O Iが「52.0」を記録した。また、ふるさと納税事業のR O Iについても、引き続き「17.7」と高い数値を記録しており、全体に占める金額の割合においても5割を超えるなど、地域貢献事業の大きな柱となっている。

なお、事業効果の算出については、従来の基準を見直し、記事制作に係る原価、外部媒体掲載による広告効果、S N S・動画広告の市場単価、サンプリングに係る人件費・物流費等の上昇を反映した、より実態に即した基準へ改定している。

②K P I（個別事業評価指標）

R O I『10.0』を達成するために講じる手段の評価指標である『K P I』については104.8%となり目標値を上回っている。

3 活動総括評価

最終年度となる3カ年計画「V I S I O N 2 0 2 5」戦略方針に基づき、「地域を愛し、ともに歩む『DMO福島市モデル』の創造」をスローガンに、前年度までの実績や経験を基に、未来に向けた組織の基盤整備に注力すると定め活動をした。

「外貨獲得」「内発循環」「関係人口拡大」「認知・理解・共感獲得」の活動方針ともに、各種事業へ取組んだ結果、各事業において着実な体制の構築と結果の反映がなされてきている。

①ふるさと納税事業

寄附金額：約18億3,300万円（約61,900件）

県内1位を6年連続で維持したものの、過去最高を記録した前年度（21.3億円）と比較すると約3億円の減少となった。

これは、ポータルサイトにおけるポイント付与禁止等の大幅な制度改正に伴う市場動向を十分に捉えきれなかったことや、物価高騰等の社会情勢を反映した日用品需要の拡大、低単価返礼品の拡充対応に遅れが生じたことなどが要因として挙げられる。しかしながら、過去2番目の寄附額を確保したほか、膨大な件数の発送業務や問い合わせ対応を大きな混乱なく完遂できたことは、チームリーダーを中心とした組織力の向上と、寄附者への真摯な対応の成果であり、今後の事業展開に向けた確固たる基盤を構築できた一年であったと評価する。

また、6万件を超える寄附実績は、当協会が注力する関係人口拡大の観点からも極めて意義深い。今後は、これらの顧客ベースを最大限に活用し、実際に福島市へ足を運んでいただくための施策を戦略的に展開していく。

1. 福島市への寄附による税収（寄附金）歳入：約9.1億円の確保（寄附額の約5割）
2. 市内事業者への経済波及効果（返礼品代金等）：約5.1億円（寄附額の約3割）
3. ふるさと納税を通じた延べ関係人口の創出：約6.1万人

②福島市観光ノート事業

当協会が運営するオウンドメディア「福島市観光ノート」は、今年度も飛躍的な発展を遂げた。年間のページビュー（P V）数は過去最高の459万件を記録しており、本サイトを通じたファンの定着化が着実に進展しているものと評価する。

S N Sのフォロワー数についても、F a c e b o o kが4,776人、I n s t a g r a mが9,951人（4月7日には1万人を突破）となるなど、特に本サイトの読者層と親和性の高いI n s t a g r a mにおいて堅調な伸びを見せた。大規模な広告投資等の施策に頼らずとも、日頃から丁寧かつ定期的な情報発信を継続したことが、顧客からの確固たる信頼獲得に繋がったものと分析する。

これらの成果は、担当職員を中心とした市民ライターチームによる地道な取材活動に加え、ピーチホリデイやロケツურიリズム、ふるさと納税、バリアフリー、M I C E等、当協会の主要事業との有機的な連携が奏功した結果である。

機能面においては、昨年度より進めてきた改修を7月に実施した。

従来強みとしてきた「旅マエ」の認知フェーズに加え、「旅ナカ」での検索性を大幅に向上。これにより、埋もれていた過去の良質な記事の再活用が可能となったほか、Google翻訳機能の実装により多言語対応も実現した。

さらに、宿泊OTA機能や浄土平スカイアクセスを契機とした体験予約機能を実装したことで、「情報収集から予約・購買まで」のシームレスな導線が完成した。次年度以降はこれらの機能をフル活用し、より多様なコンテンツを戦略的に届けることで、更なる人流の創出を目指していく。

③ふくしまピーチホリデイ

実質5年目を迎えた本事業は、地域に深く根差し、着実な成果を積み重ねてきている。

参加事業者への周遊施策では、参加者数が前年水準を維持した。提供コンテンツの新規数は落ち着きを見せているものの、メディア掲載実績は伸長しており、企画自体の認知度が「福島夏の定番」として定着フェーズに移行したと分析する。

また、こむこむ館との有機的な連携や、移住希望者を対象とした農作業体験の実施に加え、市内事業者との共創による桃ピューレ等の試作開発に漕ぎ着けた点は、極めて意義深い。これにより、収穫期に限定されていた「ピーチホリデイ」の枠組みを越え、BtoB展開を軸とした通年供給体制の構築に向けた確固たる一步を踏み出した。

「大ゴッホ展」でのキッチンカー出店においては、開発したピューレを用いた「桃ホットドリンク」を投入し、来場者から高い評価を獲得した。今後は、本メニューの有用性を実証データとともに市内飲食店へ普及させ、更なる外貨獲得と人流創出を目指していく。

④福島市観光案内所/ふくしまバリアフリースター

福島市観光案内所への来所者数は、令和6年度：38500人から、令和7年度：44200人と5700人の増加（1.14倍）、外国人訪問者については、1,800人から2,200人と400人（1.22倍）と増加傾向。

案内所が単なる通過点にとどまらず、丁寧な接客対応や、福島市内でのアクティビティを求める訪日外国人への浄土平スカイアクセスの提案、他の事業による誘客効果により、昨年以上に活発な動きが取られている。

また、ピーチホリデイや大ゴッホ展等のイベント・キャンペーンを案内所内で装飾を施したりするなど通過観光客の情報発信拠点としての機能も確実に行うことができている。ロケツーリズムを通じた映画の紹介や、誘致や開催支援をした会議・大会での連携も進んでいる。

スタンスはこれまで通り、「ハイタッチ型おもてなし案内」。福島を訪れた方とのハイタッチな接点づくりは今後も継続していく。

バリアフリースター拠点としての「ふくしまバリアフリースター」も、近距離モビリティサービス「WHILL（ウィル）」のレンタル事業や、温泉入浴サポートサービスのコンテンツ開発等、先端技術を活用した誰でもが楽しめる観光の環境構築や、ユニバーサルツーリズムの体験コンテンツ造成も着実に進歩している。

⑤データ分析能力の向上・シームレスな予約販売機能の実装

地域DMOとして基礎データを収集するために実施している『福島市へのご宿泊ありがとうキャンペーン（デジタル宿泊者調査）』は、昨年に続き、約11,200件と非常に多くの方の回答を得ることができ、当協会のデータ分析の有用な基礎資料となっている。

また、昨年度導入した観光ノート内で宿泊予約ができる宿泊OTA機能も、個人販売の展開のみならず、市内で開催される国際会議での利用など、チームの垣根を超えた有効活用の可能性も広がることができた。

令和7年度は、これに加え、「浄土平スカイアクセス」の予約機能としてJTB Bokunを観光ノート内に実装した。これで、宿泊の他に、体験やイベントチケット等も観光ノート内でシームレスに予約ができる環境が整った。今後は、コンテンツの充実を目指すとともに、ありがとうキャンペーンアンケート回答者、ふるさと納税寄付者、ピーチホリディアンケート回答者等、10万を超える顧客ベースをフル活用して、宿泊販売や体験の販売などの人流の創出を目指していく。

⑥浄土平二次交通実証実験/浄土平スカイアクセス運行企画

福島市トップクラスの集客力を誇る“浄土平”、“磐梯吾妻スカイライン”への観光客のアクセス環境の安定的運用を目指す二次交通整備の可能性を図るため実施した。

福島駅西口発、高湯温泉経由浄土平間の往復ツアーとして登山者向け1便（5.5時間滞在）、一般旅行者向け3便（2時間滞在）を販売。

全てのお客様を運びきり、かつ、不採算を最小限に抑えつつ、本格販売へ移行することを企画の肝としたモデル的地域貢献事業として始めたが、予想以上の反響の多さ（申込者数）を受け、10月から一部内容・価格の変更を行いながら、磐梯吾妻スカイラインの冬季閉鎖期間までシーズンいっぱい運営をした。

結果的には、1150人の申込者、うち外国人参加者が1割以上という結果であった。

遠方に住む運転に不安がある登山客にとっては、「やっと一切経山に登れる」という環境の提供になり、外国人にとっては、これまで行きたくても見に行くことができなかった吾妻小富士の景色を楽しむためのものとなったことは間違いない。

登山者利用が確実に確保でき、また、タクシー相乗りとなる場合の課題や天候不順の影響等も明らかになるなど、実施の意義は当初予定した赤字上限以内に収めることもでき成果は充分であった。

令和8年度も、本実証実験を踏まえ、不採算を更に最小限を追求をしながら本格販売する。

4 受託事業

※以下、ROI計算式

協会収益ROI = 売上総利益 ÷ (投資額 + 人件費)

地域への波及効果換算額に対するROI = 波及効果産出額 ÷ (投資額 + 人件費)

事業名称【受託期間】	令和7年花見山観光客対応業務 【令和7年2月12日～6月30日】
報告担当者	高橋 康
事業内容	花見山観光案内所の設営や運営、手荷物預かり所の設置や運営、花見山公園内及び物産広場の安全対策、コールセンターの開設、ボランティアガイドの活動費等支払事務、臨時駐車場整地作業、来訪者アンケート作業、花見山周辺の環境美化作業、車いす介助ボランティア活動費等支払事務など。
事業目的	開花時期にあわせた受入態勢を整備することで、来訪者に安心して観光していただく環境を提供する。
事業目標 (KPI)	福島市（花見山振興協議会）の事業目標に準ずる。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主管：福島市（観光交流推進室：花見山振興協議会事務局）
売上／年	0円
費用／年	5,840,526円
売上総利益／年	367,874円（公益事業補助金投入額－費用）
公益事業補助金投入額／年	6,208,400円（委託金額）
協会自主財源投入額／年	0円
事務局員対応延べ人数／年	2名（420,000円／300,000円＋120,000円）
協会収益ROI	ROI 0.05 367,874円 ÷ (5,840,526円＋420,000円)
経済波及効果を 受けた事業者数／年	25社（警備関連、案内所設置や備品購入、保険など）
地域への波及効果内容	・花見山やその周辺、及び市内観光関連施設等への経済波及効果 ・来訪者アンケートの結果95.2%が満足との回答
メディア報道回数／年	－
メディア報道広告効果／年	－
SNS・WEB発信回数／年	SNS (X 115回)、WEB (HP84回更新)
SNS・WEBリーチ人数／年	SNS (X 106,607)、WEB (PV 555,714)
来場者・購入者・申込者 総数／年	77,000人
地域への波及効果（額）	合計効果 8,770,483円 直接効果 5,885,306円 間接効果 2,885,177円
地域への波及効果換算額 に対するROI	ROI 1.40 8,770,483円 ÷ (5,840,526円＋420,000円)
特記事項	なし

事業名称【受託期間】	福島駅前軽トラ市情報発信事業業務 【令和7年4月1日～令和8年3月31日】
報告担当者	高橋 ちひろ
事業内容	『福島駅前軽トラ市（Web版）』の保守管理、個別生産者記事の作成、SNS広告

事業目的	『福島駅前軽トラ市（Web版）』を通して、生産者の運営するオンラインショップ等の情報を全国へ発信することで、本市産農産物プロモーションの一環とし、ひいては市内生産者の所得向上を推進する。
事業目標（KPI）	福島市の事業目標に準ずる。
事業協力体制 （主催・共催・協賛・後援）	主管：福島市（農業振興課）、サイト管理：マインドファクトリー、 取材協力：観光ノートライター
売上／年	0円
費用／年	1,016,013円
売上総利益／年	583,987円（公益事業補助金投入額－費用）
公益事業補助金投入額／年	1,600,000円（受託金額）
協会自主財源投入額／年	0円
事務局員対応延べ人数／年	1名（282,500円）
協会収益ROI	ROI 0.44 583,987円 ÷ (1,016,013円 + 282,500円)
経済波及効果を 受けた事業者数／年	4社（生産者情報ページ取材）
地域への波及効果内容	－
メディア報道回数／年	－
メディア報道広告効果／年	－
SNS・WEB発信回数／年	Instagram・Facebook広告 2回／年
SNS・WEBリーチ人数／年	Instagram・Facebook広告 リーチ数 592,234 WEBサイト PV28,000、総ユーザー数 16,000
来場者・購入者・申込者 総数／年	－
地域への波及効果（額）	合計効果 1,748,357円 直接効果 1,016,013円 間接効果 732,344円
地域への波及効果換算額 に対するROI	ROI 1.34 1,748,357円 ÷ (1,016,013円 + 282,500円)
特記事項	なし

事業名称【委託期間】	ふくしまの特産品等魅力拡散キャンペーン業務 【令和7年6月10日～令和8年3月31日】
報告担当者	高橋 ちひろ
事業内容	・レビューキャンペーンの実施 福島市の返礼品を受け取った寄附者へ、ふるさと納税サイト内での返礼品に対する評価・口コミ・レビュー掲載キャンペーンを実施。
事業目的	本市ふるさと納税寄附者をターゲットとした参加型情報拡散キャンペーンを実施する。本キャンペーンを実施することで、寄附者を起点に市の特産品（果物等）のブランド価値を広め高めるとともに、本市魅力発信と関係人口創出・拡大を図り、本市ファンの拡大やふるさと納税寄附額増加に繋げることを目的とする。
事業目標（KPI）	福島市の事業目標に準ずる。
事業協力体制 （主催・共催・協賛・後援）	主管：福島市（政策調整課）
売上／年	0円
費用／年	924,604円
売上総利益／年	263,396円（公益事業補助金投入額－費用）
公益事業補助金投入額／年	1,188,000円（受託金額）

協会自主財源投入額／年	0円
事務局員対応延べ人数／年	3名 (215,500円)
協会収益ROI	ROI 0.23 263,396円 ÷ (924,604円 + 215,500円)
経済波及効果を 受けた事業者数／年	200社 (ふるさと納税返礼品取扱事業者)
地域への波及効果内容	・ 事業者の商品・返礼品の口コミ増加 ・ ふるさと納税の寄付促進
メディア報道回数／年	－
メディア報道広告効果／年	－
SNS・WEB発信回数／年	観光ノート記事 1回 28,900円 観光ノートSNS発信 2回 24,340円 メールマガジン 1回 (⇒50円×2631=131550円)
SNS・WEBリーチ人数／年	観光ノート記事 ユーザー数289人 観光ノートSNS発信 フォロワー数7,394人、Facebook4,776人 メールマガジン 配信数2,631通
来場者・購入者・申込者 総数／年	レビューキャンペーン応募数 808人
地域への波及効果（額）	合計効果 1,109,394円 直接効果 924,604円 間接効果 184,790円
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 0.97 1,109,394円 ÷ (924,604円 + 215,500円)
特記事項	なし

事業名称【委託期間】	福島市バリアフリーマップ更新業務 【令和7年6月3日～令和8年3月31日】
報告担当者	佐藤 由香利
事業内容	福島市バリアフリーマップ掲載情報の追加・更新
事業目的	・ 高齢者や障がいのある方、子育て世代、外国人を含むすべての人が安心して移動・施設利用できる環境づくり ・ バリアフリーおよびバリアに関する情報不足という課題の解消 ・ 外出機会の創出と施設利用の促進
事業目標（KPI）	福島市の事業目標に準ずる。
事業協力体制 （主催・共催・協賛・後援）	主管：福島市（共生社会推進課） サイト管理：オーダーメイドジャパン
売上／年	0円
費用／年	1,517,426円
売上総利益／年	449,374円（公益事業補助金投入額－費用）
公益事業補助金投入額／年	1,966,800円（業務委託）
協会自主財源投入額／年	0円
事務局員対応延べ人数／年	1名 (1,200,000円)
協会収益ROI	ROI 0.16 449,374円 ÷ (1,517,426円 + 1,200,000円)
経済波及効果を 受けた事業者数／年	15施設（商業施設5・宿泊施設2・旅客施設2・その他観光施設6）
地域への波及効果内容	施設調査時バリアフリーアドバイス・マップ掲載
メディア報道回数／年	－
メディア報道広告効果／年	－

SNS・WEB発信回数／年	バリフリFacebook 9回 / X 6回
SNS・WEBリーチ人数／年	SNS リーチ：2,166人 ・アクション:180回 効果額：10,444
来場者・購入者・申込者 総数／年	0人
地域への波及効果（額）	合計効果 1,527,870円 直接効果 1,517,426円 間接効果 10,444円
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 0.56 $1,527,870円 \div (1,517,426円 + 1,200,000円)$
特記事項	なし

事業名称【委託期間】	「福島市観光共創戦略」策定業務 【令和7年4月30日～令和8年3月31日】
報告担当者	横葉 純一
事業内容	福島市観光戦略策定懇談会への出席 策定素案の検討・調整 策定素材のデータ収集・作成・調整 協力機関への出席依頼・素案への意見聴取 完成版の納品
事業目的	福島市の観光政策の方向性を定義づける、令和8年度からの5カ年計画 の戦略策定にあたり、市と共に前進できる計画立案を目指し、市は基本 計画、協会は実施計画的な、分担を明確にしながら、必要な知見などの 提供・助言などを行い、協会のビジョンとの協調を図る
事業目標（KPI）	—
事業協力体制 （主催・共催・協賛・後援）	主管：福島市（観光交流推進室） 協力：（公財）日本交通公社
売上／年	0円
費用／年	2,477,670円
売上総利益／年	－円（公益事業補助金投入額－費用）
公益事業補助金投入額／年	1,834,999円（業務委託）
協会自主財源投入額／年	642,671円
事務局員対応延べ人数／年	14名（287,000円＝224,000円＋63,000円）
協会収益ROI	ROI 0.00 $0円 \div (2,477,670円 + 287,000円)$
経済波及効果を 受けた事業者数／年	1社（公財 日本交通公社）
地域への波及効果内容	—
メディア報道回数／年	—
メディア報道広告効果／年	—
SNS・WEB発信回数／年	—
SNS・WEBリーチ人数／年	—
来場者・購入者・申込者 総数／年	—
地域への波及効果（額）	合計効果 0円 直接効果 0円 間接効果 0円
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 0.00 $0円 \div (2,477,670円 + 287,000円)$

特記事項	令和8年度中の完成としたため、業務内容中成果品の納品項目を削除し変更契約を締結。
------	--

事業名称【委託期間】	台湾現地セールス・プロモーション業務 【令和7年7月29日～令和8年2月13日】
報告担当者	高橋 康
事業内容	夏季(8月)及び冬季(12月)に実施された台湾でのセールス活動に際し、訪問先との日程調整、現地関係者へのアポイント取得、関係機関との連絡調整を行った。また、参加者に対して渡航手続きや現地での移動・滞在に関する案内を行うなど、円滑な実施に向けた事前準備及び現地対応を支援した。
事業目的	全国的なインバウンド需要の高まりを活かし、本市の魅力を積極的に発信し、誘客に繋げるため、本市に最も多くの来訪者がある台湾において、市長トップセールスも含めた観光プロモーションを実施する。
事業目標 (KPI)	福島市の事業目標に準ずる。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主管：福島市（観光交流推進室）
売上／年	0円
費用／年	1,871,860円
売上総利益／年	1,045,389円（公益事業補助金投入額－費用）
公益事業補助金投入額／年	2,917,249円（業務委託）
協会自主財源投入額／年	0円
事務局員対応延べ人数／年	2名（300,000円＋196,000円）
協会収益ROI	ROI 0.44 $1,045,389円 \div (1,871,860円 + 496,000円)$
経済波及効果を 受けた事業者数／年	-
地域への波及効果内容	-
メディア報道回数／年	-
メディア報道広告効果／年	-
SNS・WEB発信回数／年	-
SNS・WEBリーチ人数／年	-
来場者・購入者・申込者 総数／年	-
地域への波及効果（額）	合計効果 150,000円 直接効果 150,000円 間接効果 0円
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 0.06 $150,000円 \div (1,871,860 + 496,600)$
特記事項	冬季セールスにおいては、現地旅行会社より、令和8年「福島わらじまつり」への参加希望が寄せられるなど、次年度の誘客につながる成果も得られた。

事業名称【委託期間】	ふくしま三名湯誘客促進業務 【令和8年1月14日～3月31日】
報告担当者	高橋 ちひろ
事業内容	(1)観光ノートによる情報発信 (2)誘客促進ツールの制作 ①リーフレット 5,000部、②のぼり 50枚、③ポスター 30枚 (3)電子データの作成

	(4)制作業務全般の管理
事業目的	またとない誘客につながる絶好の機会であるふくしまDCに向け、福島市の総合観光webメディア「福島市観光ノート」において「ふくしま三名湯」の誘客促進を図る新たなコンテンツを作成し発信するとともに、新たに作成したコンテンツと専門性を持って蓄積された観光情報、素材データを活用した誘客促進ツールの制作を行い、本市への誘客を促進する。
事業目標（KPI）	福島市の事業目標に準ずる。
事業協力体制 （主催・共催・協賛・後援）	主管：福島市（観光交流推進室）
売上／年	0円
費用／年	1,257,948円
売上総利益／年	238,052円（公益事業補助金投入額－費用）
公益事業補助金投入額／年	1,496,000円（受託金額）
協会自主財源投入額／年	0円
事務局員対応延べ人数／年	1名（412,500円）
協会収益ROI	ROI 0.14 238,052円 ÷ (1,257,948円 + 412,500円)
経済波及効果を 受けた事業者数／年	3社（三温泉各観光協会）
地域への波及効果内容	－
メディア報道回数／年	－
メディア報道広告効果／年	－
SNS・WEB発信回数／年	観光ノート記事 1回 観光ノートSNS発信 1回
SNS・WEBリーチ人数／年	観光ノート記事 ユーザー数24人 観光ノートSNS発信 フォロワー数X7,394人、Facebook4,776人
来場者・購入者・申込者 総数／年	5,000人（予定／2026年4月1日以降配布）
地域への波及効果（額）	合計効果 12,570円 直接効果 0円 間接効果 12,570円
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 0.00 12,570円 ÷ (1,257,948円 + 412,500円)
特記事項	なし

事業名称【委託期間】	ふるさと納税推進業務 【令和7年4月1日～令和8年3月31日】
報告担当者	ガラール 真紀
事業内容	福島市ふるさと納税運営業務
事業目的	(1)福島市の財源確保・拡大 (2)農家を含む市内事業者の販路・売上の拡大 (3)ふるさと納税を通じた関係人口拡大 (4)地域課題の解消解決 (5)事業収益の地域再投資による地域貢献
事業目標（KPI）	(1)ふるさと納税寄付額 20億円 ・ 関係人口創出・拡大(リピーター):2,000 人 ・ 新返礼品による地域課題の解消解決 ・ 事業収益の地域再投資による地域貢献

事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主管：福島市（政策調整課） 事業主体：当会 協力：ふるさと納税協力事業者
売上／年	134,199,232円（事務手数料）
費用／年	68,261,160円
売上総利益／年	65,938,072円
公益事業補助金投入額／年	0円
協会自主財源投入額／年	0円
事務局員対応延べ人数／年	職員：2名、パート職員：11名、業務委託職員：2名（12,648,000円）
協会収益ROI	ROI 0.81 65,938,072円 ÷ (68,261,160円 + 12,648,000円)
経済波及効果を 受けた事業者数／年	返礼品取扱事業者：200社 広告事業者：1社 インターネット関連：3社(HP1、RPA2) 配送事業者：1社 郵便事業者：1社 印刷事業者：2社
地域への波及効果内容	ふるさと納税額 1,833,454,000円 (1)事業者への波及効果（返礼品代金等）511,391,000円※ (2)福島市税（寄附金）歳入 916,727,000円
メディア報道回数／年	県内新聞報道14回、WEB版新聞記事1回、TV報道2回 オンラインメディア30回（PRTIMES 掲載記事参照・転載含む）
メディア報道広告効果／年	9,829,000円 + 555,000円 = 10,384,000円
SNS・WEB発信回数／年	観光ノート記事（新返礼品情報2回、キャンペーン情報5回、通信1回） プレスリリース1回 オンラインプレスリリース1回
SNS・WEBリーチ人数／年	－
来場者・購入者・申込者 総数／年	年間寄付件数 61,926 件 2025年9月楽天ふるさと納税祭出店 来場者数 20,000人 ブース訪問数 2,000人（試食提供数） 寄付者数 9/14～15楽天（首都圏） 247件（うち会場32件） 8,580,000円
地域への波及効果（額）	合計効果 1,438,502,000円 直接効果 1,428,118,000円※地域への波及効果（1）+（2） 間接効果 10,384,000円
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 17.78 1,438,502,000円 ÷ (68,261,160円 + 12,648,000円)
特記事項	2025年 5月 ふるさと納税勉強会 2025年 7月 ふるさと納税デパート、Vふるさと納税開始 2025年 8月 まいふる、マルイふるさと納税開始 2025年 9月 制度改正前の駆け込み寄付 2025年 9月 Yahoo!トラベル ふるさと納税開始 2025年10月 ポイント付与の禁止 2025年11月 ニフティふるさと納税受付開始

5 収益事業

事業名称	観光案内所物販事業 【実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日】
報告担当者	柳沼 亜希
事業内容	・福島市内、福島圏域の会員事業者の商品及び福島市観光PRキャラクター「ももりん」グッズの販売 ・斡旋契約のある宿泊施設、交通機関等への斡旋送客 ・着ぐるみ貸出やキャラクター利用料の管理など
事業目的	(1)会員事業者等が取り扱う商品の宣伝や販売 (2)商品を通じたファンづくり (3)接客を通じた宿泊施設、交通機関への斡旋送客 (4)福島市観光PRキャラクター「ももりん」を活用した観光・物産振興
事業目標（KPI）	(1)業務委託販売 ・目標： 730,000円 ・成果：1,131,677円（前年比：157%） (2)ももりんグッズ販売事業 ・目標： 1,200,000円 ・成果：1,596,096円（前年比：130%） (3)宿泊／タクシー斡旋送客 ・目標： 250,000円 ・成果： 125,134円（前年比：41%） (4)キャラクター使用料 ・目標： 45,000円 ・成果： 72,160円（前年比：171%）
事業協力体制 （主催・共催・協賛・後援）	事業主体：当会
売上／年	3,630,158円
費用／年	2,799,723円
売上総利益／年	830,435円
公益事業補助金投入額／年	0円
協会自主財源投入額／年	0円
事務局員対応延べ人数／年	職員3名 パート職員3名（385,565円）
協会収益ROI	ROI 0.26 $830,435円 \div (2,799,723円 + 385,565円)$
経済波及効果を 受けた事業者数／年	【物販販売】 ・農家果樹園：3社 ・こけし工人：1社 ・地元新聞社：1社 ・地元印刷会社：4社 ・販売事業者：9社 ・その他団体：4社 【斡旋】 ・交通事業者：2社 ・宿泊事業者：17社 【キャラクター使用料】 ・地元企業：10社
地域への波及効果内容	2,799,723円（仕入費）
メディア報道回数／年	・新聞 3回 ・オンラインメディア 4回
メディア報道広告効果／年	・合計：9,622,950円 ・新聞：9,390,150円 ・オンラインメディア：232,800円
SNS・WEB発信回数／年	観光ノート 3回 SNS 3回
SNS・WEBリーチ人数／年	観光ノート リーチ数 5,887人 SNS 7,747人

来場者・購入者・申込者 総数／年	来訪者数：44,236人（物販購入件数：1,766件）
地域への波及効果（額）	合計効果 17,488,770円 直接効果 2,799,723円（仕入費） 間接効果 14,689,047円（来場者に対する波及効果も含む）
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 5.49 17,488,770円 ÷ (2,799,723円 + 385,565円)
特記事項	・着ぐるみ貸出件数 ももりん : 35件（うち福島市 17件） ブラックももりん : 17件（うち福島市 8件） ・ももりんキャラクター使用料対象 : 10社 ・車いすレンタル件数 : 30件 ・ベビカルレンタル件数 : 20件 ・大相撲パブリックビューイング 5月場所（5月11日～5月25日） 7月場所（7月13日～7月27日） 9月場所（9月14日～9月28日） 11月場所（11月9日～11月23日） 1月場所（1月11日～1月25日） 3月場所（3月8日～3月22日）

事業名称	浄土平スカイアクセス実証事業 【実施期間：令和7年5月1日～11月2日】
報告担当者	横葉 純一
事業内容	【浄土平二次交通に関する実証事業（自主事業）】 福島駅～浄土平定期シャトルバス運行企画「浄土平スカイアクセス」 福島市の観光資源を最大限に活かす着地観光商品型公共交通の提案 公共交通の設置を期待しつつも、利益の安定性等、経済的な側面から着手しにくい課題もあり、地域DMOである当協会が、旅行商品として福島駅と浄土平をつなぐ二次交通観光サービスを造成。観光来訪者のアクセス環境を提供しつつ、運営体制自体の持続性も模索する取り組み。
事業目的	福島市の観光資源を最大限に活かす着地観光商品型公共交通 「磐梯吾妻スカイライン」「浄土平」の景観に魅かれ、行ってみたいと思われる方は多くいるものの、運転に不安のある方や免許をお持ちでない国内外からの観光客については、訪問を断念されるケースが多く、市としてトップクラスの観光素材でありながら、二次交通の脆弱さが観光客を除いていた事実環境の改善を図るもの。
事業目標（KPI）	(1)利用者数：500名
事業協力体制 （主催・共催・協賛・後援）	事業主体：当会 協力：福島交通(株)福島支社、 大和自動車交通(株)、福島貸切辰巳屋自動車(株)
売上／年	9,454,688円
費用／年	12,494,997円
売上総利益／年	▲3,040,309円
公益事業補助金投入額／年	0円
協会自主財源投入額／年	4,000,000円
事務局員対応延べ人数／年	4名（事務局1名+案内所2名+観光ノート1名） 715,000円
協会収益ROI	ROI 0.07 959,691円 ÷ (12,494,997円 + 715,000円)
経済波及効果を 受けた事業者数／年	市内交通事業者 3社 浄土平駐車場運営事業者 1社 オンライン広告配信会社 1社（Yamap）
地域への波及効果内容	10,890,570円（仕入費）

メディア報道回数／年	県内新聞報道 2回、WEB版新聞記事 3回 オンラインメディア 40回（PRTIMES 掲載記事参照・転載含む）
メディア報道広告効果／年	新聞 2,344,650円 オンラインメディア 1,864,650円 Yamapバナー広告 12,782,128円 合計 16,991,428円
SNS・WEB発信回数／年	Yamapによる広告 1回（1ヶ月間のバナー広告） 観光ノート記事 3回 プレスリリース1回 オンラインプレスリリース1回
SNS・WEBリーチ人数／年	【Yamapによるバナー広告】配信期間：2025年10月1日～10月31日 インプレッション数 6,321,094 リーチ数 262,866 クリック数 6,997 クリックユーザー数 5,860
来場者・購入者・申込者 総数／年	スカイアクセス参加者 1,150人 うち、高湯温泉あったか湯前での乗車人員：86人 下車人員169人
地域への波及効果（額）	合計効果 27,881,998円 直接効果 10,890,570円※地域への経済波及効果 間接効果 16,991,428円※広告効果
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 2.11 27,881,998円 ÷ (12,494,997円+715,000円)
特記事項	【参考】高湯温泉あったか湯でのスカイアクセス乗降者数から勘案した 高湯温泉への副次的効果 ①高湯温泉あったか湯乗車≒高湯温泉へ前泊した人数と類推 「乗車人数：86人」×「高湯温泉宿泊単価約19000円」=1,634,000円 ②高湯温泉あったか湯下車≒高湯温泉へ後泊orあったか湯利用した人数 と類推（仮にそれぞれが半分ずつとして） 「下車人数169人」×1/2×あったか湯利用500円=42,250円 「下車人数169人」×1/2×高湯温泉宿泊単価19,000円=1,605,500円

事業名称	大ゴッホ展キッチンカー出店運営事業 【実施期間：令和8年2月21日～5月17日】 ※年度をまたいだ事業のため、以下報告数値は、3月31日までの分とする
報告担当者	横葉 純一
事業内容	会場敷地内にキッチンカーの出店エリアを設け、ゴッホの世界観を表現したメニューや、ゴッホにちなんだ特別メニュー、自慢のふくしまの味を振る舞い、このビッグイベントを食で盛り上げ私たち福島ならではの「食」の魅力でおもてなしをする
事業目的	福島県政150周年・東日本大震災15年を記念し福島県立美術館において開催される「大ゴッホ展」第1期・夜のカフェテラスでは、県内外をはじめ海外から過去にも類を見ない25万人の来場者が見込まれており絶好の機会と捉え、ふくしま、そして地域の魅力を食を通じてPRし、第2期の再来場につなげる。
事業目標（KPI）	(1)出店者数：20社 (2)キッチンカー売上：10,000千円
事業協力体制 （主催・共催・協賛・後援）	事業主体：当会 協力：福島県（文化振興課）、福島民報社
売上／年	925,803円※当協会販売手数料
費用／年	322,971円
売上総利益／年	602,832円
公益事業補助金投入額／年	0円

協会自主財源投入額／年	0円
事務局員対応延べ人数／年	2名 (357,500円)
協会収益ROI	ROI 0.88 602,832円 ÷ (322,971円 + 357,500円)
経済波及効果を 受けた事業者数／年	33社（キッチンカー出展事業者）※全事業者数
地域への波及効果内容	キッチンカー売上 5,124,030円 ※出店に伴う仕入などの経済行為は含まず
メディア報道回数／年	－
メディア報道広告効果／年	－
SNS・WEB発信回数／年	観光ノート記事（Instagram） 3回
SNS・WEBリーチ人数／年	閲覧数：20,724 リーチ数：9,841 いいね数：308
来場者・購入者・申込者 総数／年	－
地域への波及効果（額）	合計効果 5,124,030円 直接効果 5,124,030円 間接効果 0円
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 7.53 5,124,030円 ÷ (322,971円 + 357,500円)
特記事項	参考）大ゴッホ展終了時速報値※5/31現在最終集計前 出店者数：33社 キッチンカー総売上：13,300,000円見込

6 公的事業

6-1 「外貨獲得」戦略事業

事業名称	ふくしまピーチホリデー 【実施期間：令和7年7月15日～令和8年6月30日 ※報告は～3月31日】
報告担当者	金澤 千裕
事業内容	(1)参加事業者勧誘およびとりまとめ (2)規格外果実配送支援運営および請求代行 (3)商品開発支援 (4)コンテンツ造成 (5)観光ノートフルーツホリデー関連フォロー (6)周遊企画運営および集計/分析/フィードバック (7)LINE/ホリデー SNS発信/問合せ対応 (8)ロケ活用
事業目的	市外へ流出している規格外果実を付加価値化させ、域内経済循環をはかり、共感型の観光コンテンツ造成を行う。ピーチホリデーのフレームを作り、域内にサーキュラーエコノミーエコシステムの基礎を構築し、関係人口拡大および観光コンテンツの磨き上げにより外貨獲得を目指す。
事業目標（KPI）	(1)参加協力店舗数 69社 前年84社(前年比達成率77.3%) (2)コンテンツ造成数 73 前年157(前年比達成率46%) (3)キャンペーン参加者数 2,528名 前年2,456名(前年比1.02%増)
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	事業主体：当会
売上／年	0円
費用／年	6,462,011円
売上総利益／年	－円

公益事業補助金投入額／年	299,970円 (ゆうやけベリー認知度向上に向けたマッチング等支援業務) 【委託期間：令和8年1月27日～3月26日】)
協会自主財源投入額／年	6,162,041円
事務局員対応延べ人数／年	計2名 (委託1名 職員1名) 7,160,000円
協会収益ROI	ROI 0 0円 ÷ (6,462,011円+7,160,000円)
経済波及効果を 受けた事業者数／年	69社
地域への波及効果内容	桃をきっかけに来訪を促進し、他フルーツや特産品への認知へ波及
メディア報道回数／年	新聞 8回、TV 3回、WEB 4回
メディア報道広告効果／年	20,864,540円 内訳：テレビ1,000,000円 新聞18,835,540円 WEB1,029,000円
SNS・WEB発信回数／年	128回
SNS・WEBリーチ人数／年	リアクション2,637名 表示回数110,737回
来場者・購入者・申込者 総数／年	2,528人
地域への波及効果（額）	合計効果 21,752,825円 直接効果 888,285円 間接効果 20,864,540円
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 1.59 21,752,825円 ÷ (6,462,011円+7,160,000円)
特記事項	・畑の体験コンテンツが収穫時期以外にも開催できるようになってきた。異常気象が相次ぐ昨今、収穫した実のみで収入を得るには不安定のため、実以外での年間を通じた収入源を生み出す畑のコンテンツ造成案を農家から賛同が得られるようになってきた。 ・こむこむ館や福島市（定住交流課、農業振興課）と連携した取り組みを継続して行うことができるようになり、関係・交流人口拡大につながっている。 ・通年開催したことにより、雑誌やWEB媒体から4月にピーチホリデイを紹介いただけるケースが増え、手間なく7月の本番時期に備えて早期宣伝をしていただけるようになってきた。 ・2024年に開催した果樹加工勉強会に参加頂いた福祉作業所のラポール泉が3月からBtoBのピューレ加工事業に本格参入し、市内事業者から相次いで購入希望の連絡が入っている。福祉施設の農福連携の基盤づくりができてきた。 ・ピーチホリデイを通年開催したことにより、加工希望事業者と加工品を使いたい事業者の両方の需要を生み出すことに成功した。

事業名称	桃ホットドリンク開発 【実施期間：令和7年7月1日～令和8年3月31日】
報告担当者	高橋 ちひろ
事業内容	・福島市の桃を活用したホットドリンク2種の開発 ・『ほっこりふくしまあったかフェア』@JR大宮駅構内での試飲 ・『大ゴッホ展』での販売
事業目的	冬期間中の継続的な桃のPR
事業目標（KPI）	—
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	実施主体：当会 協力：㈱ニックファンズ
売上／年	100,000円
費用／年	484,650円

売上総利益／年	－円
公益事業補助金投入額／年	0円
協会自主財源投入額／年	484,650円
事務局員対応延べ人数／年	6名 (193,000円)
協会収益ROI	ROI 0.00 0円 ÷ (484,650円 + 193,000円)
経済波及効果を 受けた事業者数／年	1社 (桃シロップ生産者)
地域への波及効果内容	・ 福島市の桃の認知度向上 ・ 桃シロップの他事業者への販売 (令和8年度)
メディア報道回数／年	－
メディア報道広告効果／年	－
SNS・WEB発信回数／年	観光ノート記事 1回
SNS・WEBリーチ人数／年	観光ノート記事 ユーザー数300
来場者・購入者・申込者 総数／年	ほっこりふくしまあったかフェア：試飲提供 400杯 大ゴッホ展：購入者 232杯
地域への波及効果 (額)	合計効果 486,150円 直接効果 484,650円 間接効果 1,500円
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 0.71 486,150円 ÷ (484,650円 + 193,000円)
特記事項	なし

事業名称	福島市インバウンド誘客促進プロジェクト (台湾プロモーション事業) 【実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日】
報告担当者	高橋 康
事業内容	(1)プロモーション (商談会・セールスコール・ブース出展) (2)インフルエンサー・メディア対応 (3)旅行会社への宿泊補助・支援 (4)わらじ祭り有料観覧席の販売 (5)繁体字SNS (facebook、Instagram) による情報発信 (6)その他関連する事業
事業目的	(1)インバウンド重点市場である台湾やその他海外からの観光客誘致を目的とし、商談会やセールスコール、イベント出展、SNS発信等を通じて現地旅行会社及び一般消費者との関係構築を図ることで、宿泊を伴う来訪促進につなげる。市内に宿泊する旅行を企画した旅行会社等には支援金を補助する。 (2)台湾における著名な桃の産地・拉拉山 (桃園市復興区) との交流を通じて、福島市の特産品である桃に対する台湾人の関心や嗜好を把握し、今後の観光プロモーションや日台交流の新たな契機を創出する。 (3)関係改善が進みつつある中国市場に対し、福島空港へのチャーター便開設を働きかけるとともに、震災後の福島が安心して訪れることのできる旅行先であることを発信し、宿泊を伴う来訪促進につなげる。
事業目標 (KPI)	定量目標 (1)当補助事業による市内宿泊者数 1,000名 (成果 701名) (2)台湾現地プロモーション参加事業者数 10社 (成果 12社) __ (3)SNSフォロワー 300名 定性目標 ・ 台湾現地旅行社や現地企業、インフルエンサー、関係者と積極的なコネクション作りを行う。

事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催：当会 協力：福島市（観光交流推進室）、飯坂温泉観光協会、 土湯温泉観光協会、高湯温泉観光協会、遊日本、日游など
売上／年	62,000円
費用／年	3,520,693円
売上総利益／年	－円
公益事業補助金投入額／年	1,100,000円
協会自主財源投入額／年	2,420,693円
事務局員対応延べ人数／年	4名 808,000円 (500,000円+140,000円+96,000円+72,000円)
協会収益ROI	ROI 0.00 0円÷(3,520,693円+808,000円)
経済波及効果を受けた 事業者数／年	資料で紹介している施設数38（宿泊、体験、観光施設、土産店など）
地域への波及効果内容	台湾から団体旅行24本（701名）の誘致・市内宿泊
メディア報道回数／年	2回/年 (1)台湾人気ユーチューバー、瓶瀬旅居日本中氏による福島市紹介 https://www.youtube.com/watch?v=DUNKvbWrsT8&t=4672s ・11月7日公開 閲覧7万回 2,100,000円 (2)旅行雑誌のMOOK社の日本東北攻略完全制覇ガイドブック ・2025年10月発行 福島市 13ページ 7,150,000円 ※台湾の広告年鑑 墨刻出版の旅行誌 TRAVELER Luxe（旅人誌）参考 1ページ55万円（令和8年4月20日現在の為替）を参考
メディア報道広告効果／年	－
SNS・WEB発信回数／年	繁体字FACEBOOK 35 繁体字Instagram 7 ※名称 Momorin的福島観光情報
SNS・WEBリーチ人数／年	繁体字FACEBOOK インプレッション数 8,697 クリック 85 繁体字Instagram インプレッション数 3,982 クリック 0 <効果額合計> ・8,697円+4,250円+3,982円 = 16,929円
来場者・購入者・申込者 総数／年	－
地域への波及効果（額）	合計 18,379,929円 直接効果 9,113,000円（※宿泊費換算 1人1泊13,000円） 間接効果 9,266,929円
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 4.59 18,379,929円÷(3,190,193円+808,000円)
特記事項	・市内事業者と連携したPRも実施しており、本事業への参加を通じて、 市内の各事業者が現地旅行会社との関係を構築し、直接取引につながる 事例も多数生まれている。 ・中国からのチャーター便運航や観光誘客を目的として、県及び市内事 業者とともに中国・大連を訪問し、一定の手応えを得たものの、その後 の日中関係の停滞により、実現には至っていない。

事業名称	台湾向けSNS施策「13's幸福食光」での情報発信 【実施期間：令和7年7月1日～12月31日】
報告担当者	高橋 ちひろ
事業内容	台湾インフルエンサー「13s幸福食光」Facebookでの情報発信（計5回） 1回目：ピーチホリデイ① 2回目：浄土平スカイアクセス 3回目：ピーチホリデイ② 4回目：日本東北有楽日出展 5回目：日本東北有楽日出展② ※インフルエンサーからのサービス
事業目的	台湾市場向けに当会の取り組みを紹介し、認知度向上を図る。
事業目標（KPI）	－
事業協力体制 （主催・共催・協賛・後援）	主催：当会 協力：花咲堂
売上／年	0円
費用／年	1,100,000円
売上総利益／年	－円
公益事業補助金投入額／年	0円
協会自主財源投入額／年	1,100,000円
事務局員対応延べ人数／年	1名（50,000円）
協会収益ROI	ROI 0.00 0円 ÷ (1,100,000円 + 50,000円)
経済波及効果を 受けた事業者数／年	32社（Facebookでの紹介）
地域への波及効果内容	・事業者の台湾での認知度向上
メディア報道回数／年	－
メディア報道広告効果／年	－
SNS・WEB発信回数／年	Facebook 5回
SNS・WEBリーチ人数／年	Facebook 閲覧数230,243
来場者・購入者・申込者 総数／年	－
地域への波及効果（額）	合計効果 230,243円 直接効果 0円 間接効果 230,243円
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 0.20 230,243円 ÷ (1,100,000円 + 50,000円)
特記事項	なし

事業名称	東南アジア（タイ・香港）等を中心としたインバウンドプロモーション と需要調査 【実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日】
報告担当者	横葉 純一
事業内容	(1)toC向けイベント出展プロモーションへの参加 ・JNT0「FITフェア2025」東北エリアへの出展
事業目的	タイ国からの訪日旅行誘客を拡大させるため、現地旅行会社への福島市 への訪問する旅行商品の造成のためのセールス活動や商談会への参加を を行うとともに、JNT0が毎年主催するタイでも最大級の個人旅行社向け 観光施策イベント「FITフェア」にて、東北エリアとしてエリアを確保し 大型PRを実施することにあわせ、福島市ブースを出展し、タイからの訪 問者数の引き上げを狙う。

事業目標（KPI）	(1)当補助事業による市内宿泊者数 200名 （成果 0名） (2)個人旅行者向け「協会OTAでの宿泊割引（20%）」カードの配布とその利用を目的とした福島市訪問者の獲得 配布3000枚（成果3000枚）／実来訪者0人 (3)商談件数 20社（成果 20社）
事業協力体制 （主催・共催・協賛・後援）	実施主体：当会 協力：福島市（観光交流推進室）
売上／年	0円
費用／年	597,643円
売上総利益／年	－円
公益事業補助金投入額／年	0円
協会自主財源投入額／年	597,643円
事務局員対応延べ人数／年	(1)FITフェア 出展 職員1名×3日間
協会収益ROI	ROI 0.00 0円 ÷ (597,643円+84,000円)
経済波及効果を 受けた事業者数／年	資料で紹介している施設数43（宿泊、体験、観光施設、土産店など）
地域への波及効果内容	－
メディア報道回数／年	0回
メディア報道広告効果／年	－
SNS・WEB発信回数／年	－
SNS・WEBリーチ人数／年	－
来場者・購入者・申込者 総数／年	－
地域への波及効果（額）	合計効果 0円 直接効果 0円 間接効果 0円
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 0.00 0円 ÷ (681,643円)
特記事項	なし

事業名称	デジタルアンケート調査（ご宿泊ありがとうキャンペーン） 【実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日】
報告担当者	高橋 康
事業内容	(1)市内観光関連5団体（飯坂温泉観光協会、土湯温泉観光協会、高湯温泉観光協会、福島市旅館ホテル協同組合、当会）会員等の宿泊施設88軒に協力いただき、福島の名産品を賞品とした来訪者デジタルアンケート調査を実施。 (2)合計11,000名を超える宿泊者に回答いただき、福島市や宿泊した施設、市内観光スポット等に対する満足度、域内消費額などの収集データを、更なる地域ブランディングに役立てる。 (3)集計データは分析して『見える可』を行い、協力施設に対して報告会を行う。
事業目的	(1)来訪者の特徴をマクロ、ミクロ両面から分析することで、当会が地域DMOとして各種施策を展開するうえでの基礎データを収集する。 (2)分析結果を宿泊施設等に共有することで、各施設の事業戦略策定に役立ててもらう。
事業目標（KPI）	定量目標 (1)回答者 14,814名（前年調査実績）

	成果 11,207名 達成率 75% 定性目標 ・市内全ての宿泊施設に協力いただくとともに、収集・分析した。データを1軒でも多い宿泊施設の戦略策定に活用いただく。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	事業主体：当会 協力：飯坂温泉観光協会、土湯温泉観光協会、高湯温泉観光協会、福島市旅館ホテル協同組合及び当会会員宿泊施設、前記以外で宿泊割等キャンペーンに参加している施設
売上／年	0円
費用／年	1,577,843円
売上総利益／年	－円
公益事業補助金投入額／年	0円
協会自主財源投入額／年	1,577,843円
事務局員対応延べ人数／年	1名 250,000円
協会収益ROI	ROI 0.00 0円 ÷ (1,577,843円 + 250,000円)
経済波及効果を 受けた事業者数／年	13社（賞品提供事業者、印刷会社）
地域への波及効果内容	1,577,843円
メディア報道回数／年	－
メディア報道広告効果／年	－
SNS・WEB発信回数／年	－
SNS・WEBリーチ人数／年	－
来場者・購入者・申込者総 数／年	応募者 11,207名
地域への波及効果（額）	合計 1,577,843円 直接効果 1,577,843円 間接効果 0円
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 0.86 1,577,843円 ÷ (1,577,843円 + 250,000円)
特記事項	・当事業のROIは低い、地域DMOとしてデータに基づく地域づくりを進めるうえでは欠かすことのできない事業となっている。 ・収集したデータの概要は協力いただいている宿泊施設が閲覧できるようになっている。

6-2 「内発循環」戦略事業

事業名称	果実規格外品供給の仕組み作り（配送支援・開発支援） 【実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日】
事業概要 ROI算出対象外	域内小規模サプライチェーンの欠如が認められることから、現実的問題解消の足掛かりとして、フルーツに関するサプライチェーンの安定化を企図するため市内飲食事業者に安定的に供給するための配送支援。及び、桃を中心としたフルーツ（規格外品）を活用した更なる創出を目的として、事業者同士の強みを融合させるような新しいバリューを出現させるための開発支援を行った。

6-3 「関係人口拡大」戦略事業

事業名称	バリアフリーツーリズム 【実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日】
報告担当者	佐藤 由香利
事業内容	(1)心のバリアフリー化に向けた啓発活動 (2)ユニバーサルツーリズムのコンテンツ造成 ①温泉入浴サポートサービスの企画・商品化 ②近距離モビリティ「WHILL(ウィル)」トライアルレンタル企画・運営
事業目的	(1)様々な障害ある方に対する具体的な配慮や気遣いなど理解促進および心のバリアフリーの普及促進 (2)高齢者や障がいのある方が気兼ねなく福島市の観光を満喫できるよう受け入れ態勢の強化を図る
事業目標 (KPI)	(1)出前講座依頼回数 目標：5回 成果：5回 達成率：100% (2)入浴サポートモニター実施 目標：2回 成果：成果3回 達成率：150%
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催：当会 共催：福島市（共生社会推進課）・福島市社会福祉協議会 協力：山水荘・YUMORI ONSEN HOSTEL・吉川屋・摺上亭大鳥 社会福祉法人けやきの村・WHILL(株)・福島地区タクシー協同組合・東日本旅客鉄道(株)・福島交通(株)鉄道部
売上／年	68,900円
費用／年	768,354円
売上総利益／年	－円
公益事業補助金投入額／年	768,354円
協会自主財源投入額／年	0円
事務局員対応延べ人数／年	2名 1,468,000円
協会収益ROI	ROI 0.00 0円 ÷ (768,354円 + 1,468,000円)
経済波及効果を 受けた事業者数／年	宿泊事業者 4社 福祉事業者 1社 交通事業者 3社
地域への波及効果内容	
メディア報道回数／年	新聞報道 6回／オンラインメディア 7回／TV 3回
メディア報道広告効果／年	12,986,240円
SNS・WEB発信回数／年	バリフリSNS Facebook・Instagram 46回／X 18回 観光ノートSNS 6回 / 観光ノート 6回
SNS・WEBリーチ人数／年	SNSリーチ数 15,250人 / WEBリーチ数 2,434人 効果額：422,344円
来場者・購入者・申込者総 数／年	0人
地域への波及効果（額）	合計効果 14,286,938円 直接効果 878,354円 間接効果 13,408,584円
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 6.38 14,286,938円 ÷ (768,354円 + 1,468,000円)
特記事項	【福島市心のバリアフリー出前講座受講者数】 4/ 3 令和7年度福島市役所新規採用職員 72名 5/17 福島市心のバリアフリー推進隊 9名 6/10 摺上亭大鳥 10名 6/26 愉快的仲間 15名 9/11 社会福祉法人わたり福祉会 22名

事業名称	域内外の組織や個人との連携支援 【実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日】
事業概要 ROI算出対象外	関係人口拡大を成功軌道に乗せるには、様々なプレーヤーが共創して課題解決に取り組む効果の最大化が鍵を握る。共創社会に適合した組織としての市内外の認知を高め、組織としての体制を確たるものにするために、積極的に市外組織との連携を進めた。

事業名称	ロケツーリズム 【実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日】
報告担当者	金澤 千裕
事業内容	福島市ロケツーリズム推進会議ホームページやSNS(X, Instagram)管理・運営・修正業務。ロケ地巡り促進のための観光ノート連携業務。ロケ支援(ロケ地選定/ロケハン帯同/ロケ立ち会い)。ロケ支援事業者やエキストラ募集登録業務。
事業目的	ロケ後の経済波及効果を最大限に引き出し、効果を持続させ、シビックプライド造成ならびに市外観光客の誘客をはかる。
事業目標 (KPI)	福島市(観光交流推進室)の事業目標に準ずる。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	福島市ロケツーリズム推進会議事務局 (主催：福島市／共催：当会／後援：福島市商工会議所など)
売上／年	0円
費用／年	95,326円
売上総利益／年	－円
公益事業補助金投入額／年	0円
協会自主財源投入額／年	95,326円
事務局員対応延べ人数／年	計1名 (委託1名) 2,400,000円
協会収益ROI	ROI 0.00 0円 ÷ (95,326円 + 2,400,000円)
経済波及効果を 受けた事業者数／年	42社
地域への波及効果内容	①NHKEテレ夏井いつきのよみ旅! ゆうやけベリー周知 ベリーボーイズ ②映画『炎かがよへ』4月 3日公開へ向けタイアップ事業者創出20社 ③映画『免許返納!?』6月19日公開へ向けタイアップ事業者創出16社
メディア報道回数／年	－
メディア報道広告効果／年	－
SNS・WEB発信回数／年	73回
SNS・WEBリーチ人数／年	リアクション1,167名 表示回数53,525回
来場者・購入者・申込者 総数／年	エキストラ登録者数 224名 (昨年から47名増)
地域への波及効果 (額)	合計効果 38,000,000円 直接効果 0円 間接効果 38,000,000円
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 15.22 38,000,000円 ÷ (95,326円 + 2,400,000円)
特記事項	・朝ドラエールを機に発足からロケツーリズム推進会議が5年目を迎え、ロケ対応のノウハウも蓄積され、福島市のロケ誘致活動も周知されてきたため、東映や松竹といった大手からの映画のロケ依頼が増えてきた。

6-4 「認知・理解・共感獲得」 戦略事業

事業名称	オウンドメディア型のWEBサイト機能強化「福島市観光ノート」事業 【実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日】
報告担当者	横山 佳代
事業内容	オウンドメディアとアールドメディアの機能・発信強化
事業目的	AI時代だからこそ、オウンドメディアとアールドメディアを通じた「共感と信頼」を軸に据える。 OMO（リアルとデジタルの融合）によるシームレスな接点で消費者の潜在的なニーズを的確に捉えた価値提案を行い、市内事業者と消費者の心理的距離を短縮する。 『選ばれる目的地』としてのブランド価値を確立し、高付加価値な消費行動を促進することで、持続可能な地域経済の発展に寄与する。
事業目標（KPI）	(1)アクセス数（PV） 目標450万 (2)ユーザー数 目標200万
事業協力体制 （主催・共催・協賛・後援）	事業主体：当会 協力：(株)マインドファクトリー・市民ライター
売上／年	0円
費用／年	4,898,134円
売上総利益／年	0円
公益事業補助金投入額／年	4,898,134円
協会自主財源投入額／年	0円
事務局員対応延べ人数／年	1名（3,360,000円）
協会収益ROI	ROI 0.00 0円 ÷ (4,898,134円 + 3,360,000円)
経済波及効果を 受けた事業者数／年	観光事業者 97 温泉宿泊事業者 29 グルメ・お土産事業者 246 ふるさと納税事業者 40 イベント主催者 325
地域への波及効果内容	・地域事業者や取り組みの認知拡大
メディア報道回数／年	-
メディア報道広告効果／年	-
SNS・WEB発信回数／年	オウンドメディア 244回 Facebook 421回 X 333回 Instagram 137回
SNS・WEBリーチ人数／年	オウンドメディア 閲覧数4,549,978 ユーザー数1,850,444 Facebook 閲覧数592,283 いいね数13,572 X 閲覧数614,727 いいね数12,786 Instagram 閲覧数1,006,131 いいね数14,242
来場者・購入者・申込者 総数／年	-
地域への波及効果（額）	合計効果 459,240,941円 直接効果 0円 間接効果 459,240,941円
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 55.61 459,240,941円 ÷ (4,898,134円 + 3,360,000円)
特記事項	令和7年8月にサイトリニューアル

事業名称	福島市観光ノートモデルコース提案機能更新等業務委託事業 【実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日】
報告担当者	横山 佳代
事業内容	(1)福島市観光ノート内データベースに新たなコンテンツを追加する。 (2)福島市観光ノート内データベースの情報を更新する。 (3)システム及びモデルコース提案機能について年間を通して正常に機能しているか確認し、不具合があれば修正等をおこなう。
事業目的	福島市は首都圏から新幹線で90分というアクセスの良さがあり、日帰りでも宿泊でも楽しむことができる環境、一人でも友人とでも家族とでも楽しめる観光素材が揃っている。この観光素材を自分好みにカスタマイズして「ちょうどいい旅」を楽しんでもらうため。
事業目標（KPI）	-
事業協力体制 （主催・共催・協賛・後援）	主催：福島市（観光交流推進室） 協力：マインドファクトリー（システム管理）
売上／年	0円
費用／年	300,000円
売上総利益／年	0円
公益事業補助金投入額／年	300,000円
協会自主財源投入額／年	0円
事務局員対応延べ人数／年	1名（39,600円）
協会収益ROI	ROI 0.00 0円 ÷ (300,000円 + 39,600円)
経済波及効果を 受けた事業者数／年	観光事業者 96 温泉宿泊事業者 29 グルメ・お土産事業者 247
地域への波及効果内容	・回遊性の向上（事業者への誘導） ・滞在時間の延長と消費額の向上 ・小規模事業者の露出機会の増加
メディア報道回数／年	-
メディア報道広告効果／年	-
SNS・WEB発信回数／年	-
SNS・WEBリーチ人数／年	オリジナルモデルコース造成 2,551PV、1,781ユーザー （モデルコース全体314,813PV、119,097ユーザー）
来場者・購入者・申込者 総数／年	-
地域への波及効果（額）	合計効果 255,100円 直接効果 0円 間接効果 255,100円
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 0.75 255,100円 ÷ (300,000円 + 39,600円)
特記事項	なし

事業名称	観光案内所運営事業 【実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日】
報告担当者	柳沼 亜希
事業内容	・人対人（リアルメディア）による交流案内 ・ハイタッチ型おもてなし案内
事業目的	(1)対面案内によるハイタッチ型のファンづくり (2)福島の魅力発信を通じた関係人口拡大 (3)来訪者の回遊促進及び消費の活性化 (4)ふるさと納税及び移住への誘引 (5)市民と共に作るおもてなし交流案内
事業目標（KPI）	(1)来場者：40,000人／年 ・成果：44,236人（前年比：115%） ・オンラインビジネスディレクトリーによる評価 (2)Googleビジネスプロフィール ・目標：評価5 ・成果：4.5 (3)トリップアドバイザー ・目標：評価5 ・成果：3.5
事業協力体制 （主催・共催・協賛・後援）	事業主体：当会 協力：福島市（観光交流推進室）、多言語市民コンシェルジュ、 市民ジュニアコンシェルジュ、福島県立視覚支援学校
売上／年	0円
費用／年	11,217,729円
売上総利益／年	0円
公益事業補助金投入額／年	9,260,000円
協会自主財源投入額／年	1,957,729円
事務局員対応延べ人数／年	職員3名、パート職員3名 （6,101,882円）
協会収益ROI	ROI 0.00 0円 ÷ (11,217,729円 + 6,101,882円)
経済波及効果を 受けた事業者数／年	・デザイン会社：1社 ・看板施工業者：2社 ・案内による観光施設、宿泊施設、飲食店、販売店、交通事業者、 キャンペーン参加事業者
地域への波及効果内容	・来訪者市内観光PR：44,236人 ・電話による観光PR：2,244件 ・キャンペーンによる市内回遊促進
メディア報道回数／年	・新聞 105回（花見山開花情報71回含む） ・オンラインメディア 34回 ・メディア 2回
メディア報道広告効果／年	・合計：33,779,520円 ・新聞：29,968,800円 ・オンラインメディア：2,914,720円 ・メディア：896,000円
SNS・WEB発信回数／年	観光ノート 110回 Facebook 31回 / X 72回
SNS・WEBリーチ人数／年	観光ノート リーチ数 62,933人 SNS リーチ数 204,113人
来場者・購入者・申込者 総数／年	来訪者数：44,236人（内、外国人2,257人）
地域への波及効果（額）	合計効果 45,515,333円 直接効果 0円 間接効果 45,515,333円
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 2.62 45,515,333円 ÷ (11,217,729円 + 6,101,882円)
特記事項	【花回廊デジタルスタンプラリー】

	・スタンプポイント(4月1日～6月30日) 【ふくしまシティーハーフマラソン2026】 ・福島県立視覚支援学校による クイックマッサージ体験コーナー開設(5月18日) 【ウルトラマンARスタンプラリーinふくしま2025】 ・スタンプポイント(7月17日～11月30日) 【Lanchiで食うポン】 ・スタンプラリー応募箱設置(①4月1日～7月4日 ②10月1日～12月5日) 【デジタルサイネージによる情報配信】 ・市内イベント 270件 ・圏域イベント50件 【タッチパネル式デジタルサイネージ コンテンツ利用】 ・方言クイズ 114人 ・温泉クイズ 45人 ・信夫山クイズ80人 【ワークショップ】 ・ストラップを作ろう体験者 29人
--	--

事業名称	人対人による交流拠点のさらなる強化・市民多言語コンシェルジュ事業 【実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日】
報告担当者	柳沼 亜希
事業内容	様々な言語を得意とする市民多言語コンシェルジュと共にハイタッチ型のファンづくり
事業目的	(1)対面案内によるハイタッチ型のファンづくり (2)福島の魅力発信を通じた関係人口拡大 (3)来訪者回遊による地域経済波及効果の拡大 (4)訪日外国人への対応
事業目標 (KPI)	(1)外国人来訪者数 定量目標 ・外国人：2,000人 定量成果 ・外国人：2,257人 (前年比：125%)
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	事業主体：当会 協力：多種多様なキャリアを持つ市民の参画 (講師、ライター、子育て世代、引退世代、学生)
売上／年	0円
費用／年	3,790,899円
売上総利益／年	－円
公益事業補助金投入額／年	3,650,000円
協会自主財源投入額／年	140,899円
事務局員対応延べ人数／年	・多言語コンシェルジュ 14名 ・ジュニア・コンシェルジュ 2名 ・1日3名×3h 3交代
協会収益ROI	ROI 0.00 000,000円 ÷ (3,790,899円+0円)
経済波及効果を 受けた事業者数／年	－
地域への波及効果内容	案内を通じ地域内の各施設(観光施設、宿泊施設、飲食店、キャンペーン参加事業者)に送客
メディア報道回数／年	・新聞1回
メディア報道広告効果／年	・合計：508,200円 ・新聞：508,200円 ・オンラインメディア：0円 ・メディア：0円
SNS・WEB発信回数／年	観光ノート：1回 SNS：2回
SNS・WEBリーチ人数／年	観光ノート リーチ数 173人

	SNS リーチ数 1,736人
来場者・購入者・申込者 総数／年	来場者数：2,257人（外国人）
地域への波及効果（額）	合計効果 8,101,032円 直接効果 3,146,246円 間接効果 4,954,786円
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 2.13 8,101,032円 ÷ (3,790,899円 + 0円)
特記事項	【業務委託】 ・新規：多言語市民コンシェルジュ 3名 ・終了：多言語市民コンシェルジュ 2名 ジュニア・コンシェルジュ 1名

事業名称	福島駅東口デジタル観光案内運営 【実施期間：令和7年6月18日～令和8年3月31日】
報告担当者	清野 正紀
事業内容	・AIさくらによる案内業務補完 ・人対人によるAIアバターを介した交流案内
事業目的	(1)ゴッホ展、ふくしまDC、絆まつり等 大規模催事への案内対応 (2)インバウンドへの案内対応 (3)西口案内所未利用者への案内対応 (4)案内データの蓄積
事業目標（KPI）	(1)利用回数：50回／日 ・利用者評価 BAD回答 10%以下
事業協力体制 （主催・共催・協賛・後援）	事業主体：福島市（観光交流推進室）及び当会
売上／年	0円
費用／年	3,573,493円
売上総利益／年	－円
公益事業補助金投入額／年	3,573,493円
協会自主財源投入額／年	0円
事務局員対応延べ人数／年	7名（274,000円）
協会収益ROI	ROI 0.00 0円 ÷ (3,573,493円 + 274,000円)
経済波及効果を 受けた事業者数／年	4社
地域への波及効果内容	来訪者への市内観光案内・福島市のPR・県内観光案内
メディア報道回数／年	新聞 4回（福島民報・福島民友・毎日新聞・朝日新聞） テレビ 3回（NHK・FTV・KFB） オンラインメディア 1回（観光ノート）
メディア報道広告効果／年	5,242,333円 （内訳：新聞 4,389,000円・テレビ 853,333円）
SNS・WEB発信回数／年	観光ノート 1回
SNS・WEBリーチ人数／年	観光ノート リーチ数 110（閲覧数 157回）
来場者・購入者・申込者 総数／年	利用者数：1,509人（設置～年度末） 利用回数：6,427回（設置～年度末）
地域への波及効果（額）	合計効果 5,602,541円 直接効果 360,208円 間接効果 5,242,333円
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 1.45 5,602,541円 ÷ (3,573,493円 + 274,000円)

特記事項	機器設置 令和8年1月13日 運用開始 令和8年1月15日～（試験運用・2月4日から本運用） 令和8年度より市からの業務委託に変更
事業名称	SNSの分析調査事業 【実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日】
事業概要	SNS評価の良し悪しを問わず、口コミを奨励することで、消費や来訪意欲を向上させるための取り組み。 ソーシャルインサイトを年間契約している。
ROI算出対象外	
事業名称	リアル出展プロモーション事業 【実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日】
報告担当者	横葉 純一
事業内容	(1)国内のイベントや催事への出展 (2)関連企業との連携を活用した福島市の認知度向上 ■出展イベント【来場者数：開催期間】 ①大阪・関西万博東北プロモーション事業ブース出展【R7. 6. 13-15】 （別掲） ②やついフェス【2万人：R7. 6. 21-22】 0-EAST等渋谷エリア9つの音楽ホール等をジャックして約200組のアーティストや芸人が出演する音楽イベント。桃ジュースの販売やももりんグッズ等の販売を通じて観光PRを行った ③MOMOテラス【3千人：R7. 7. 19-20】 京都市伏見区桃山地区にあるショッピングセンター「MOMOテラス」内での桃の販売促進イベントへ出展。福島市その他、岡山県なども出展。桃約3000個を販売。 ④moreTOHOKUマルシェ【約5千人：R7. 7. 26-27】 仙台市が東北の交流人口の拡大とまちの賑わい創出を図るため、東北の自治体や観光協会等が出展。桃と桃関連商品の販売を通じて、福島市のPRを行った。 ⑤東京電力本社もも販売会PR【約500人：R7. 8. 5】 東京電力が社員向けに開催する販売会場にブース出展し、旬の桃とトウモロコシを販売、映像放映やパンフレットによるPRも同時に実施した。 ⑥楽天「楽天超ふるさと納税祭」【約20000人R7. 9. 14-15】 楽天によるふるさと納税寄付者招待型イベント。約150自治体が参加。福島市としても出展をし、9月駆け込み需要獲得のため参加。時期シーズン発送のくだもの定期便等の先行予約受付を例年よりも時期を早めて提供開始し、寄付獲得に向けてPRを行った。 563件の寄付がイベント出展に伴うものであった。 ⑦ほっこり福島あったかフェア2026【約8000人：R8. 1. 10-11】 福島県が毎年JR大宮駅構内で開催する復興イベントで今回福島市ブースを確保できたことから、物産品の販売とゴッホ展に向けての桃ドリンクの試飲による福島市のPRを図った。
事業目的	首都圏、関西圏、仙台圏での福島市の観光の魅力を発信し、観光地福島市の認知度向上を目指し、出展PR活動を実施するとともに、福島市を代表する果物「桃」の販売会や、桃ジュースの販売を通じたふくしまフルーツホリデーのPRを行う
事業目標（KPI）	(1)イベント参加・出展件数 5件
事業協力体制 （主催・共催・協賛・後援）	事業主体：当会 事業連携：JR福島駅、福島中央青果卸売(株)、JAふくしま未来、市観光農園協会事業者、会員物産事業者
売上／年	1,476,620円

費用／年	2,909,154円
売上総利益／年	－円
公益事業補助金投入額／年	0円
協会自主財源投入額／年	2,909,154円
事務局員対応延べ人数／年	職員のべ43人／日
協会収益ROI	ROI 0 (事業費2,909,154円＋人件費571,000円)
経済波及効果を 受けた事業者数／年	商品販売に係る仕入れ事業者 10社
地域への波及効果内容	販売用物品の仕入れ購入による直接効果 観光PRを介して商品及び観光施設等の紹介
メディア報道回数／年	・テレビ報道（宮城県内テレビ局夕方ニュース）3件
メディア報道広告効果／年	792,000円
SNS・WEB発信回数／年	－
SNS・WEBリーチ人数／年	－
来場者・購入者・申込者 総数／年	来訪者数：2,750人（ブース内来場及び購入者数）
地域への波及効果（額）	合計効果 1,643,700円 直接効果 851,700円 間接効果 792,000円（来場者に対する波及効果も含みず）
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 0.47 1,643,700円 ÷ 3,480,154円
特記事項	なし

事業名称	大阪・関西万博東北プロモーション事業 ブース出展 【実施期間：令和7年6月13～15日】
報告担当者	高橋 ちひろ
事業内容	大阪・関西万博会場で開催される「東北四季の彩り & 東北絆まつり」 内にブース出展し、下記のプロモーションを行った。 ・SNSフォロー促進施策 ・サンプリング（ピーチホリデイ缶バッジ配布） ・桃ジュース、ももりんグッズ販売 ・ももりん着ぐるみプロモーション
事業目的	福島市（ピーチホリデイ、くだもの王国）の認知向上、来訪促進
事業目標（KPI）	－
事業協力体制 （主催・共催・協賛・後援）	主催：青森県、秋田県、岩手県 山形県 宮城県 福島県、 一般社団法人 東北観光推進機構
売上／年	957,732円
費用／年	3,040,859円
売上総利益／年	－円
公益事業補助金投入額／年	0円
協会自主財源投入額／年	3,040,859円
事務局員対応延べ人数／年	15名（792,000円）
協会収益ROI	ROI 0 0円 ÷ (3,040,859＋792,000円)
経済波及効果を 受けた事業者数／年	1事業者（桃ジュース生産者）
地域への波及効果内容	－

メディア報道回数／年	－
メディア報道広告効果／年	－
SNS・WEB発信回数／年	観光ノート記事 1回 観光ノートSNS発信 1回
SNS・WEBリーチ人数／年	観光ノート記事 ユーザー数300人 観光ノートSNSフォロワー数 933名増
来場者・購入者・申込者 総数／年	桃ジュース購入者 1472名
地域への波及効果（額）	合計効果 271,500円 直接効果 270,000円 間接効果 2,433円
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 0.07 $271,500円 \div (3,040,859円 + 792,000円)$
特記事項	なし

事業名称	福島駅ウェルカム演出（列車発車メロディ） 【実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日】
事業概要 ROI算出対象外	福島駅発車メロディを古関メロディにするためのJASRAC利用料

事業名称	福島市観光ガイドブック等の制作 【実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日】
事業概要 ROI算出対象外	福島市への観光客誘致活動を実施するにあたり、本市の持つ観光資源やモデルコースを掲載したパンフレットを作成し、本誌の魅力を紹介するとともに、本市への旅行意欲を刺激し誘客につなげる。 ・福島市観光ガイドブック（2万部） ・福島市観光ガイドマップ（3万部） ・花見山ガイドマップ（4万部） ※費用一部はMICE誘致支援事業にて計上

事業名称	【ふくしまDC関連事業】おもてなしグルメマップ制作事業 （実施期間：令和7年4月1日～3月31日）
報告担当者	沖澤 舞子
事業内容	(1)「ふくしまおいしい旅MAP」制作 20,000部 (2)(1)と連携したデジタルマップ（Google my map）制作 (3)回遊企画運営および集計/分析
事業目的	ふくしまDC期間中には多くの観光客が本市を訪れることが想定され、また福島市観光案内所を訪れる方々からも周辺飲食店情報を求める声が多いなど、かねてから需要の高い福島市グルメマップを制作し、市内の滞在時間の延長促進からの消費拡大や宿泊需要拡大などにつながる情報発信ツールを整備する。
事業目標（KPI）	(1)回遊企画参加者：300名 (2)市内回遊での消費目標金額：450,000円（1,500円×300名）
事業協力体制 （主催・共催・協賛・後援）	事業主体：当会 協力：福島県立美術館、花の写真館（福島市写真美術館）
売上／年	0円
費用／年	990,000円
売上総利益／年	－円
公益事業補助金投入額／年	0円
協会自主財源投入額／年	990,000円

事務局員対応延べ人数／年	6名（職員3名 パート3名）（256,780円）
協会収益ROI	ROI 0.00 0円 ÷ (990,000円 + 256,780円)
経済波及効果を 受けた事業者数／年	27社（MAP掲載飲食店）
地域への波及効果内容	・掲載飲食店利用合計金額：135,386円 平均：1,934円 ・アンケート回答者満足度：90%（非常に満足、やや満足の合計）
メディア報道回数／年	5回 ・新聞1回 ・雑誌1回 ・オンラインメディア3回
メディア報道広告効果／年	1,637,260円
SNS・WEB発信回数／年	・観光ノート2回 ・SNS 11回 効果額：1,595,483円
SNS・WEBリーチ人数／年	観光ノート ・15,226 PV SNS ・リーチ 17,333人 ・アクション 1,111人
来場者・購入者・申込者 総数／年	回遊企画参加者：79名 内アンケート回答者：70名 （集計期間：2026年3月1日～3月31日）
地域への波及効果（額）	合計効果 4,271,232円 直接効果 1,038,489円 間接効果 3,232,743円
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 3.42 4,271,232円 ÷ (990,000 + 256,780円)
特記事項	アンケート集計結果 集計期間：2026年3月1日～3月31日 回答者：70名 ・回答者の85%が女性 年齢別では60代以上が22名で最多 ・年齢別利用平均金額 ①60代 ②20代 ③30代～50代 の順で多い ・居住地 ①福島県 25.7% ②1都3県 24.2% ③宮城県 20% ・約4割が宿泊を伴う訪問 エリア別では福島駅周辺が55%と半数以上 ・飲食店利用件数 美術館周辺：41件 福島駅周辺：29件

6-5 「MICE誘致」 戦略事業

事業名称	MICE誘致支援 【実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日】
報告担当者	村田 崇
事業内容	国際、国内MICEの開催を福島市に誘致するため、大会主催者である各種学会、大学教授、研究者らの情報を収集し、継続的な営業活動を行う。また、年に数回開催されるMICE商談会にも福島市役所の担当者や施設担当者らと共に積極的に出展し、誘致活動を行う。また、開催支援についても補助金だけでなく、主催者・参加者・地域事業者らにメリットのある支援メニューを構築、提供を行う。
事業目的	・国際会議開催を通じて福島市の名前や魅力を国内外に発信 ・MICE開催中における市内への経済波及効果の最大化 ・開催分野に関連する地元事業者や団体との接点をつくり、新たなビジネス機会を創出する。
事業目標（KPI）	(1)営業・商談件数 60 件 （実績：63件、達成率105%） (2)開催支援対応件数（補助金含） 30 件 （実績：38件、達成率126%） ・福島市での開催における意義、支援体制、魅力などを紹介し、開催実現につなげる。 ・開催支援を通して、地元ステークホルダーへの利益貢献
事業協力体制 （主催・共催・協賛・後援）	主催：当会 共催：福島市（コンベンション推進課）、 公益財団法人福島県産業振興センター（コラッセふくしま）
売上／年	0円
費用／年	2,765,815円

売上総利益／年	－円
公益事業補助金投入額／年	2,765,815円
協会自主財源投入額／年	0円
事務局員対応延べ人数／年	1名 (5,585,900円)
協会収益ROI	ROI 0.00 000,000円 ÷ (2,765,815円 + 5,585,900円)
経済波及効果を 受けた事業者数／年	－
地域への波及効果内容	・ 宿泊、飲食、交通、観光施設の利用増加、および受入体制およびサービス力の向上 ・ 地元産品（飲食・土産等）の消費拡大 ・ 会場使用、看板、印刷など関連事業への発注
メディア報道回数／年	－
メディア報道広告効果／年	－
SNS・WEB発信回数／年	－
SNS・WEBリーチ人数／年	－
来場者・購入者・申込者 総数／年	－
地域への波及効果（額）	合計効果 434,600,000円 ※MICE開催による経済波及効果測定のための簡易測定モデルVer.4（観光庁作成）使用
地域への波及効果換算額に 対するROI	ROI 52.03 434,600,000円 ÷ (2,765,815円 + 5,585,900円)
特記事項	「地域への波及効果」については、観光庁作成モデルによる効果測定のため、直接効果及び間接効果を含めた合計額にて算出

7 メディア掲載実績

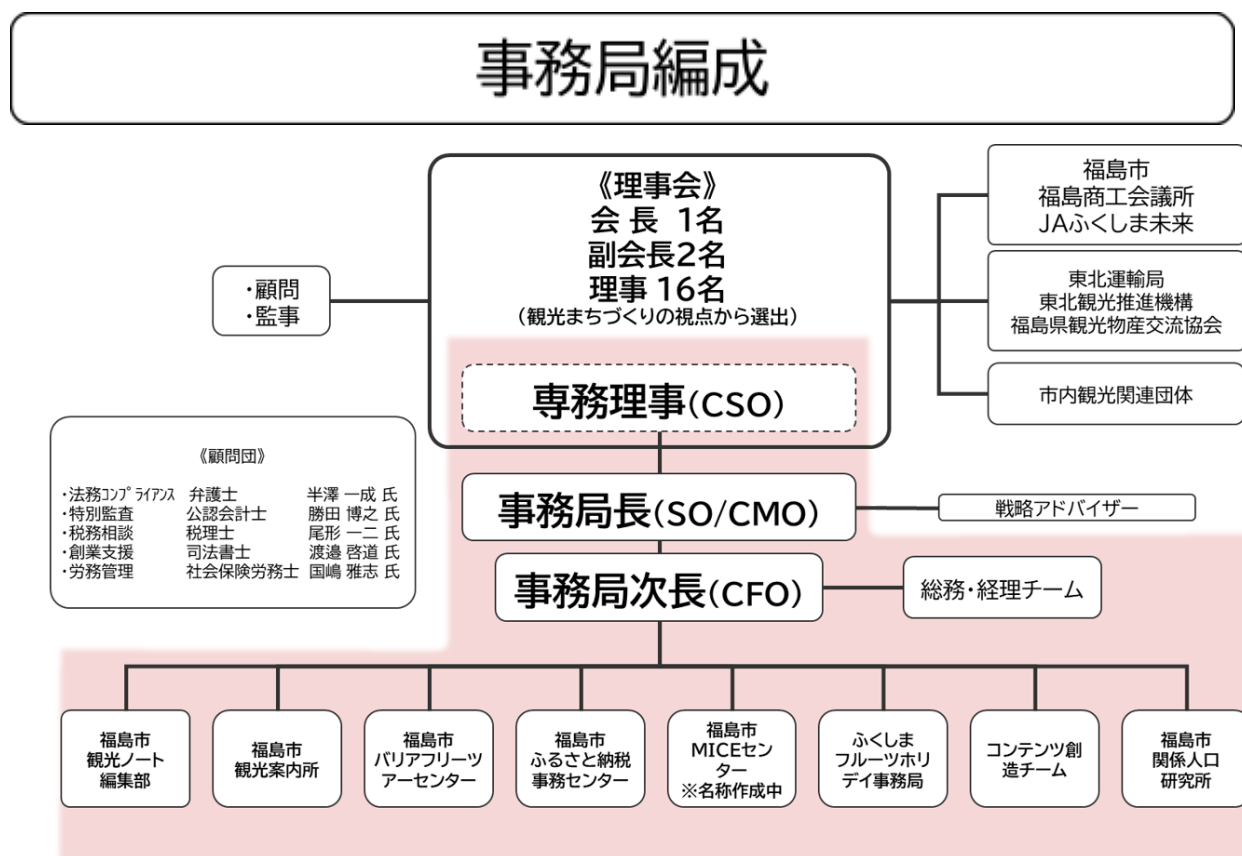
7-1 新聞等掲載実績

<福島市観光案内所>		
掲載日	新聞名	タイトル
5.20(火)	福島民友	クイックマッサージ開設
5.26(月)	福島民報	西口大型ビジョン・大相撲パブリックビューイング (PV)
7.28(月)	福島民報	西口大型ビジョン・PVで声援 福島駅西口駅前広場
8.30(土)	福島民友	「わらじまつり」高い関心 福島に訪れた外国人 観光案内所問い合わせ昨年のに倍に
9.15(月)	福島民友	西口大型ビジョン・大波兄弟に熱視線 福島でPV
9.15(月)	福島民報	西口大型ビジョン・市民ら声援 福島駅西口駅前広場エールビジョン
9.29(月)	福島民友	西口大型ビジョン・若隆景に温かい声援 福島でPV
9.30(火)	福島民報	西口大型ビジョン・若隆景、若元春ねぎらう
10.12(日)	福島民報	復興、魅力伝わったか 大阪・関西万博あす閉幕 福島と「新たな接点」
11.7(金)	福島民報	こけし欄 ももりんキーホルダー
11.24(月)	福島民友	西口大型ビジョン・大相撲千秋楽PVで応援
12.5(金)	福島民友	多言語観光案内人を募集
1.12(月)	福島民報	西口大型ビジョン・PVで応援
1.12(月)	福島民友	西口大型ビジョン・大相撲初場所取組 福島駅前でエール
2.6(金)	福島民報	福島駅、AIがおもてなし
2.8(日)	福島民友	AI観光案内 始動 福島駅東口改札前
2.8(日)	朝日新聞	AI、観光ご案内 福島駅東口
2.9(月)	毎日新聞	AIアバターがおもてなし
2.12(木)	福島民報	こけし欄 ももりん手帳
3.10(火)	福島民友	西口大型ビジョン・地元力士の取組 福島駅前で応援
2.18(水)	福島民友	奥の細道コーナー 鋳物もりん
3.13(金)	福島民友	福島の27飲食店紹介マップ作成
3.23(月)	CJmonmo	ふくしまおいしい旅MAP アートとグルメ満喫企画

3.24(火)	福島民報	西口大型ビジョン・大相撲ファンら若元春応援
3.24(火)	福島民友	西口大型ビジョン・福島駅前、若元春に声援
<ふくしまバリアフリーツアーセンター>		
掲載日	新聞名	タイトル
8.13(水)	東京新聞	福島で桃ざんまい
12.24(水)	福島民報	ゴッホ展最寄り駅バリアフリー化ほぼ完了
2.12(木)	福島民報	花見山介助ボランティア募集
2.16(月)	福島民友	花見山介助ボランティア募集
3.17(火)	福島民友	電動乗り物貸出へ
3.18(水)	福島民報	20日から「ウィル」貸し出し
<福島市ふるさと納税>		
掲載日	新聞名	タイトル
4.3(木)	福島民友	福島市の返礼品に車掌なりきり体験
4.7(月)	福島民報	福島市とJR東ふるさと納税返礼品に運転士体験
6.28(土)	福島民友	「ライブアツマ」入場券追加ふるさと納税の返礼品
8.1(金)	福島民報	ふるさと納税1兆2千億円
8.1(金)	福島民友	ふるさと納税県内101.8億円
10.9(木)	福島民友	福島市ふるさと納税2.5倍
10.10(金)	福島民報	ふるさと納税11億5207万円 前年同比2.49倍
3.14(土)	福島民報	ふるさと納税約3億円減
<ふくしまピーチホリデー>		
掲載日	新聞名	タイトル
7.15(火)	福島民報	新鮮なモモ味わって
7.16(水)	福島民友	年間通してモモまみれに！
7.24(木)	日本農業新聞	福島の桃食べに来て ピーチホリデー通年開催
7.28(月)	福島民報	ももりんフロッキー人形
8.14(木)	日本農業新聞	子ども目線で果物紹介福島市観光協「図鑑」制作し限定配布
8.16(土)	毎日新聞	人気桃パフェの店再開
10.21(火)	福島民報	24日から「夜の果樹園」飯坂で26日までライトアップ
10.24(金)	福島民報	光が実る果樹園
10.24(金)	福島民友	幻想的なリンゴ畑
<浄土平スカイアクセス>		
掲載日	新聞名	タイトル
4.29(火)	福島民友	浄土平行き観光車両
4.30(水)	福島民報	バス・タクシーで浄土平へ
10.9(木)	福島民友	浄土平スカイアクセス利用者にステッカー 1000人記念、来月3日まで
<その他>		
掲載日	新聞名	タイトル
4.20(日)	福島民友	口ケ誘致、福島活性化へ
4.23(水)	福島民報	福島市内口ケに補助金
5.23(金)	福島民報	花見山 今春の開花期観光客
5.23(金)	福島民友	花見山来訪者2000人増
5.29(木)	福島民友	福島で映画オーディション
6.15(日)	福島民報	「夏の福島」魅力届け
6.26(木)	福島民友	訪日客促進を計画
9.21(日)	福島民報	日本放射線看護学会 福島で学術集会開催
9.21(日)	福島民友	放射線看護在り方議論
9.22(月)	福島民報	「奥羽新幹線」地域間交流へ検討会が発足
9.22(月)	福島民友	奥羽新幹線検討会を発足
9.30(火)	福島民報	二本松で撮影始まる 明日までアライブフーン新作
10.2(木)	福島民友	福島「パークアンドライド」
10.9(木)	福島民友	児童ら刀鍛冶体験 福島
10.9(木)	福島民報	伝統の刀鍛冶 児童が体験 福島
11.20(木)	福島民友	福島市の観光戦略を議論
11.29(土)	福島民友	奥羽新幹線効果探る
11.29(土)	福島民報	集客受け止めるまちづくり重要「奥羽新幹線」構想
12.9(火)	福島民報	県都”ゴッホ色”着々
12.12(金)	福島民友	観光業の課題を金融機関と共有 DC見据え勉強会
12.14(日)	福島民報	観光業支援 考える DCに向け金融機関対象勉強会
3.29(日)	福島民報	花見山、さあ本番だ 今期オープニングセレモニー式典

7-2 テレビ等放送実績

<福島市観光案内所>		
放送日	メディア名	タイトル
2.6(金)	福島テレビ	ふくしまDCを前に福島駅でAIアバターによる観光案内が始まる
2.6(金)	福島放送	福島市の玄関口で出迎え 観光客をA Iでご案内
<ふくしまバリアフリーツアーセンター>		
放送日	メディア名	タイトル
3.16(月)	福島放送	福島市に次世代モビリティ導入 観光地の行動範囲拡大へ
3.17(火)	テレビユー福島	登場 新モビリティWHILLを体験 福島駅前で20日から貸出
3.24(火)	福島テレビ	免許不要” 近距離モビリティ” 県内初福島市でレンタル始まる
<ふるさと納税>		
放送日	メディア名	タイトル
5.1(木)	福島テレビ	ふるさと納税
6.27(金)	福島テレビ	ふるさと納税
<ふくしまピーチホリデイ>		
放送日	メディア名	タイトル
7.15(火)	NHK	ふくしまピーチホリデイ 特産の桃をPR
7.15(火)	テレビユー福島	「ふくしまピーチホリデイ2025」がスタート
7.15(火)	福島中央テレビ	ふくしまピーチホリデイ2025



- ・ディレクター以上の者は、**マルチタスク(2プロジェクト以上)**を担う。
- ・事務局長、事務局次長は、事務局マネジメントを担いながら、**プレイヤー**としていずれかのプロジェクトにも関与する。
- ・常勤理事は、協力連携関係組織等との横断的な戦略調整役を担いながら、**プレイヤー**としていずれかのプロジェクトにも関与する。

9 会議（主体的に開催した会議）

当会事業を円滑に実施するために開催した会議

会議名称	時期	場所	内 容
第1回最高経営会議 (ボード会議)	5月30日	福島市 市民センター	第1回理事会の開催について 通常総会の開催について 他
第1回理事会	6月5日	福島市 市民センター	新規入会希望者審査等について 令和7年度通常総会提出議案について 他
通常総会	6月23日	ホテル福島 グリーンパレス	令和6年度事業報告 令和7年度事業計画(案) 他
第2回最高経営会議 (ボード会議)	8月26日	福島市 市民センター	第2回理事会の開催について 他
第2回理事会	8月29日	福島市役所	新規入会希望者審査について 果実規格外品供給の仕組みづくりについて 他
第3回最高経営会議 (ボード会議)	12月18日	福島市役所	第3回理事会の開催について 他
第3回理事会	12月25日	福島市 市民センター	令和8年度事業概要の方向性について 東口AI観光案内計画について 他
第4回最高経営会議 (ボード会議)	3月13日	福島市 市民センター	第4回理事会の開催について 他
第4回理事会	3月26日	福島市 市民センター	令和8年度戦略方針・予算案について 就業規則改正について 他

10 名義後援等

本市の観光振興に寄与すると認められる事業

	事業名称	開催日	場所	主催者
1	ウォークラリー福島大会2025	5月25日	福島駅東口駅前広場 及び福島市街地	NPO法人 福島市レクリエーション協会
2	道の駅ふくしま×菊池製作所連携イベント 熱気球で新緑散歩とロボット見学 in福島おおぞうインター工業団地	5月25日	菊池製作所 おおぞう研究所	福島市フルーツラインエリア 観光推進協議会
3	第36回ほろ酔いウォーク2025	6月27日～28日	飯坂温泉街	ほろ酔いウィーク実行委員会
4	第40回全国選抜 ゲートボール大会	6月21日～22日	とうほう・みんなの スタジアム	公益財団法人 日本ゲートボール連合
5	ふくしまミート フェスティバル2025	7月4日～6日	まちなか広場	ふくしま食堂実行委員会
6	福島夏まつり (花火大会・わらじまつり)	7月27日 (花火大会) 8月1日～3日 (わらじまつり)	花火大会： 信夫ヶ丘緑地 わらじまつり： 国道13号信夫通り 駅前通り	福島夏まつり委員会
7	第20回2025 福島きて！みて！呑んでラリー	8月27日～28日	福島駅前	福島きてみて呑んでラリー 実行委員会
8	福島eスポーツフェス	9月14日	福島市市民センター	株式会社 Zero one
9	ふくしま絹の道	10月11日～13日	染織工房おりをり、よ が坂工房おりをり、飯 坂学習センター	福島市フルーツラインエリア 観光推進協議会
10	第14回あづまTeshi-got市場	10月25日～26日	あづま総合運動公園 イチョウ並木	あづまTeshi-got市場 実行委員会事務局
11	わんわんウォーク2025 in 福島	11月8日	まちなか広場 にぎわい広場	わんわんウォーク2025in福島 実行委員会
12	福の島クラフトフェア inふくしま	11月15日～16日	道の駅ふくしま	福の島クラフトフェア実行委員会
13	ふくしま 地酒の陣 2025	12月5日～7日	まちなか広場	並木通り商店街振興組合
14	第23回飯坂温泉太鼓まつり	2026年3月8日	パルセいいざか	飯坂温泉太鼓まつり実行委員会
15	2026『ふくしま花ウォーク』『第28回ふく しま吾妻荒川花見山ツーデーマーチ』	2026年4月4日	街なか広場	実湧満彩ふくしま路 ウォーキング運営委員会
16	飯坂温泉ミュージックフェスティバル 「おと酔いウォーク2026」	2026年4月11日	飯坂温泉街	おと酔いウォーク実行委員会
17	赤い羽根共同募金運動 「ももりんバッジ」デザイン応募	2026年4月20日 ～5月22日	—	福島県共同募金会 福島市共同募金委員会
18	NEXT FUKUSHIMA:NEO ランタン・ナイト Vol.3	2026年4月26日	あづま総合運動公園 (せせらぎ桜広場)	株式会社 SLJ
19	第22回クマガイソウの里まつり	2026年5月3日～17日	福島市松川町 水原地区 鎌倉山地内	水原の自然を守る会
20	うさぎふくふく祭り inふくしま2026	2026年5月10日	アオウゼ	うさぎふくふく祭りinふくしま 実行委員会
21	ふくしまシティハーフ マラソン2026	2026年5月17日	誠電社WINDYスタジア ム (信夫ヶ丘競技場)	ふくしまシティハーフマラソン 実行委員会
22	ビアフェスふくしま2026	2026年5月29日～31日	まちなか広場	ビアフェスふくしま実行委員会
23	The 5th International Conference on Advances in Radioactive Isotope Science (ARIS2026)	2026年5月31日 ～6月7日	ホテル福島グリーン パレス /パルセイ いざか	放射線物理に関する 国際研究集会準備会
24	第26回しのぶの里 フォトコンテスト	2026年6月30日	—	公益財団法人福島市振興公社

令和7年度 収支決算書

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

一般社団法人福島市観光コンベンション協会 収支決算書
(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(収入の部)

科目	予算額(a)	決算額(b)	増減(b)-(a)	備考
I 事業活動収入				
1 受取関係	3,300,000	3,390,000	90,000	
(1) 会員会費収入	3,300,000	3,390,000	90,000	
2 事業収入	136,706,000	169,681,761	32,975,761	
(1) 受託事業収入①	13,106,000	17,211,448	4,105,448	
① 令和7年花見山観光客対応業務	6,356,000	6,208,400	▲ 147,600	
② 福島駅前軽トラ市情報発信事業業務	1,600,000	1,600,000	0	
③ ふくしまの特産品等 魅力拡散キャンペーン業務	1,180,000	1,188,000	8,000	
④ 福島市バリアフリーマップ更新業務	1,970,000	1,966,800	▲ 3,200	
⑤ 「福島市観光共創戦略」策定業務	2,000,000	1,834,999	▲ 165,001	
⑥ 台湾現地セールス・プロモーション業務	0	2,917,249	2,917,249	
⑦ ふくしま三名湯誘客促進業務	0	1,496,000	1,496,000	
(2) 受託事業収入②	121,600,000	134,199,232	12,599,232	
① ふるさと納税推進業務	121,600,000	134,199,232	12,599,232	
(3) 販売事業収入(自主事業)	2,000,000	18,271,081	16,271,081	
① 案内所物販収入	1,400,000	2,731,493	1,331,493	
② 案内所斡旋等収入	300,000	360,181	60,181	宿泊OTA手数料収入含む
③ 案内所バリアフリー運営収入	100,000	102,884	2,884	
④ 案内所その他収益収入	200,000	435,600	235,600	
⑤ 浄土平スカイアクセス販売収入	0	9,454,688	9,454,688	
⑥ イベント出展売上収入	0	4,260,432	4,260,432	イベント出展、ビーチホリデー関連
⑦ 大ゴッホ展キッチンカー出店運営	0	925,803	925,803	出店運営手数料
3 受取補助金等	76,005,000	78,922,049	2,917,049	
(1) 市補助金	76,005,000	78,922,049	2,917,049	
① 福島市組織運営補助金(観光)	67,097,000	67,097,000	0	
② 福島市組織運営補助金(観光追加)	0	3,573,493	3,573,493	駅東口AIさくらさん導入分
③ 福島市組織運営補助金(MICE)	8,908,000	8,251,556	▲ 656,444	R6年度返金分 100,159円を含む
(2) 国・県 他 補助金	0	0	0	
	0	0	0	
4 雑収入	16,008	2,068,303	2,052,295	
① 受取利息収入	16,008	749,515	733,507	
② 雑収入	0	1,318,788	1,318,788	事務局・案内所雑収益
事業活動収入計	216,027,008	254,062,113	38,035,105	
前期繰越収支差額	628,992	628,992	0	
収入合計	216,656,000	254,691,105	38,035,105	

(支出の部)

	予算額(a)	決算額(b)	増減(b)-(a)	備考
I 事業活動支出				
1 事業費支出				
(1) 受託事業運営支出①	13,106,000	14,906,047	1,800,047	
① 令和7年花見山観光客対応業務	6,356,000	5,840,526	▲515,474	
② 福島駅前軽トラ市情報発信事業業務	1,600,000	1,016,013	▲583,987	
③ ふくしまの特産品等 魅力拡散キャンペーン業務	1,180,000	924,604	▲255,396	
④ 福島市バリアフリーマップ更新業務	1,970,000	1,517,426	▲452,574	
⑤ 「福島市観光共創戦略」策定業務	2,000,000	2,477,670	477,670	
⑥ 台湾現地・セールスプロモーション業務	0	1,871,860	1,871,860	
⑦ ふくしま三名湯誘客促進業務	0	1,257,948	1,257,948	
(2) 受託事業支出②	32,000,000	68,277,110	36,277,110	
① ふるさと納税推進業務	32,000,000	68,277,110	36,277,110	送料差額負担分含む
(3) 販売事業支出	1,000,000	15,617,691	14,617,691	
① 観光案内所・物販関連支出	1,000,000	2,799,723	1,799,723	
② 浄土平スカイアクセス	0	12,494,997	12,494,997	利用者1,150名分参加費
③ 大ゴッホ展キッチンカー出店運営	0	322,971	322,971	分電盤設置等
(4) 地域貢献活動事業支出-「外貨獲得」	15,550,000	13,742,340	▲1,807,660	
① ビーチホリデイをフックとした誘客促進	5,000,000	6,946,661	1,946,661	案内所装飾、イベント出展との連動支出分含む
② 訪日需要拡大を見据えた誘客促進	6,550,000	5,217,836	▲1,332,164	台湾・タイプロモーション・訪日アンケート
③ 体験商品づくり・販売促進	1,500,000	0	▲1,500,000	[連携]スカイアクセス、ビーチホリデイ
④ 来訪者が循環する仕組み作り	500,000	0	▲500,000	[連携]ふるさと納税、観光ノート
⑤ デジタル時代の効果的な誘客を支える データ収集・解析・分析	2,000,000	1,577,843	▲422,157	ありがとうキャンペーン
(5) 地域貢献活動事業支出-「内発循環」	4,300,000	2,553,150	▲1,746,850	
① ふるさと納税20億円プロジェクト	1,500,000	0	▲1,500,000	[連携]ふるさと納税業務
② 果実規格外品供給仕組みづくり	1,800,000	1,453,150	▲346,850	
③ DMO組織の運営安定化を見据えた仕組みづくり	1,000,000	1,100,000	100,000	
(6) 地域貢献活動事業支出-「関係人口拡大」	4,900,000	3,298,553	▲1,601,447	
① バリアフリーツーリズム	1,500,000	768,354	▲731,646	
② 関係人口拡大支援	2,600,000	0	▲2,600,000	[連携]CRM管理システム等
③ 域内外の組織や個人との連携支援	800,000	2,433,992	1,633,992	生成AIセミナー開催、人口動態データシステム導入
④ 共創の仕組みづくり	0	0	0	
⑤ ロケツーリズム	0	96,207	96,207	
(7) 地域貢献活動事業支出-「認知・理解・共感獲得」	20,210,000	19,357,907	▲852,093	
① マーケティングに基づく関係人口の拡大			0	
(a-1) WEBサイトの機能強化(観光ノート)	5,000,000	5,198,134	198,134	WEBサイト運営
(a-2) 観光ノート多言語化改修	300,000	0	▲300,000	WEBサイト運営
(b) 福島市観光ノート機能改修	0	0	0	
(c) SNS活用の強化	500,000	0	▲500,000	[連携]ビーチホリデイ
(d) 交流拠点(案内所)の機能強化	3,650,000	3,790,899	140,899	案内所コンシェルジュ費用
(e) SNSの分析調査	600,000	666,600	66,600	SNS分析システム費用
(f) ふるさと納税を介した誘客促進強化	500,000	0	▲500,000	[連携]ふるさと納税
(g) リアルプロモーション活動	5,000,000	5,950,013	950,013	イベント出展PR活動
(h) 有料デジタル広告/既存広告の告知展開	500,000	0	▲500,000	[連携]ビーチホリデイ、観光ノート
(i) 誘客促進を目的とした勉強会	110,000	0	▲110,000	[連携]セミナー開催
(j) 誘客促進管理	0	0	0	
(k) 福島駅ウェルカム演出	50,000	44,000	▲6,000	発車メロディ
(l) 福島市ガイドブック制作	3,000,000	2,718,261	▲281,739	
(m) 【ふくしまDC】 おもてなしグルメマップ制作	1,000,000	990,000	▲10,000	
(8) MICE誘致活動	3,000,000	2,765,815	▲234,185	
① MICE誘致活動	3,000,000	2,351,365	▲648,635	
② パンフレット類印刷経費	0	414,450	414,450	
事業費支出合計	94,066,000	140,518,613	46,452,613	

2 管理費支出				
(1) 管理費支出-事務局	104,323,000	99,143,990	▲5,179,010	
① 給与手当	62,597,000	61,233,575	▲1,363,425	委託職員分を除く
② 退職給付金支出	1,596,000	0	▲1,596,000	
③ 福利厚生費	0	467,051	467,051	
④ 法定福利費	11,320,000	8,987,171	▲2,332,829	
⑤ 会議費	400,000	357,667	▲42,333	
⑥ 旅費交通費	500,000	547,690	47,690	
⑦ 渉外費	180,000	269,802	89,802	
⑧ 広告宣伝費	0	409,204	409,204	
⑨ 通信運搬費	1,350,000	1,032,359	▲317,641	
⑩ 消耗品費	1,500,000	1,290,263	▲209,737	
⑪ 新聞図書費	20,000	79,026	59,026	
⑫ 修繕費	100,000	151,574	51,574	
⑬ 印刷製本費	350,000	316,800	▲33,200	
⑭ 燃料費	100,000	111,403	11,403	
⑮ 光熱水料費	450,000	383,574	▲66,426	
⑯ 賃借料	1,500,000	1,068,870	▲431,130	
⑰ 地代家賃	2,600,000	2,613,600	13,600	五月町事務所家賃等
⑱ 火災保険料	560,000	748,738	188,738	
⑲ 諸謝金費	10,500,000	10,314,000	▲186,000	委託職員2名分 弁護士、税理士、会計士、
⑳ 租税公課	2,200,000	1,344,724	▲855,276	
㉑ 負担金	2,000,000	1,844,300	▲155,700	
㉒ 委託費	3,000,000	3,000,000	0	委託職員1名分
㉓ 支払手数料	1,500,000	2,557,849	1,057,849	DMO更新登録用件必修研修受講費、 退勤管理システム、他
㉔ 寄付金	0	0	0	
㉕ 支払利息	0	0	0	
㉖ 雑支出	0	14,750	14,750	R6年度県補助金戻入等
(2) 管理費支出-案内所	9,260,000	11,217,729	1,957,729	
① 福利厚生費	0	2,000	2,000	
② 旅費交通費	0	144,212	144,212	
③ 渉外費	0	13,056	13,056	
④ 広告宣伝費	0	664,210	664,210	DC/ゴッホ展仕様装飾
⑤ 通信運搬費	460,000	485,771	25,771	
⑥ 消耗品費	700,000	1,414,877	714,877	東口AI案内所開設経費等
⑦ 新聞図書費	100,000	96,380	▲3,620	民報・民友
⑧ 修繕費	300,000	289,298	▲10,702	
⑨ 印刷製本費	0	0	0	
⑩ 光熱水料費	900,000	818,483	▲81,517	
⑪ 賃借料	700,000	92,334	▲607,666	
⑫ 地代家賃	5,800,000	5,662,800	▲137,200	案内所家賃
⑬ 委託費	0	0	0	
⑭ 支払手数料	300,000	1,512,858	1,212,858	AIさくらさんシステム利用料
⑮ 雑支出	0	21,450	21,450	
(3) 法人税、住民税など	8,000,000	1,868,200	▲6,131,800	
① 法人税、住民税など	8,000,000	1,868,200	▲6,131,800	
管理費支出合計	121,583,000	112,229,919	▲9,353,081	
事業活動支出合計	215,649,000	252,748,532	37,099,532	
令和7年度事業活動収支	378,008	1,313,581		

Ⅱ 投資活動収支の部				
投資活動収入	0	100,000	100,000	
特定資産取崩収入	0	100,000	100,000	
出資金返却収入	0	100,000	100,000	
投資活動支出	0	2,965,140	2,965,140	
固定資産取得支出	0	2,965,140	2,965,140	
什器備品購入支出	0	837,100	837,100	案内所設置モニター等
その他の固定資産購入支出	0	1,091,350	1,091,350	PC、レーザープリンター導入等
長期前払費用支出	0	1,036,690	1,036,690	AIさくらさん導入初期費用
投資活動収支差額	0	▲2,865,140	▲2,865,140	

Ⅲ財務活動収支の部				
財務活動支出	0	79,640	79,640	
リース債務返済支出	0	79,640	79,640	
リース債務返済支出	0	79,640	79,640	
財務活動収支差額	0	▲79,640	▲79,640	

Ⅳ予備費支出				
当期収支差額	378,008	▲1,631,199		
前期繰越収支差額	628,992	628,992		
次期繰越収支差額	1,007,000	▲1,002,207		

令和7年度決算書 解説

I. 決算書解説の基本的な考え方

解説については、予算額と比較して増減が大きい項目や特に説明が必要な項目を記載。

II. 収入の部

1 受取会費

参考：年度内会員増減 入会16件 退会8件

2 事業収入

(1)受託事業収入①(ふるさと納税運営業務を除く)

福島市（観光交流推進室、農業振興課、政策調整課、共生社会推進課）からの受託事業が7件。
前年度比2件増加。なお、予算額を0円計上としている2件の事業は、年度途中で発生した事業。

(2)受託事業収入②(ふるさと納税運営業務)

R7年度の寄付額は、過去最高を記録したR6年度比で3億4百万円余減による。

(3)販売事業収入

「a. 案内所物販収入」は、ももりんグッズ、特産品等販売益

「e. 浄土平スカイアクセス」は、利用者1,150名分の参加代金

「f. イベント出展売上収入」は大阪万博を含め8件の出展販売、及びピーチホリデー関連収益

「g. 大ゴッホ展キッチンカー出店運営」は、出展運営手数料収入

3 受取補助金

(1)市補助金

福島市組織運営補助金（観光追加）は、「福島駅東口デジタル観光案内運営事業（AIさくらさん設置）」実施に伴う追加補助分。

福島市組織運営補助金（MICE）は、補助対象外経費返納による。

4 雑収入

「b. 雑収入」はグリーンツーリズム関係団体解散による預り金の振替及び、コンベンション対応や案内所取扱い等で発生したその他の収入。

III. 支出の部

1 事業費支出

(1) 受託事業運営支出(ふるさと納税運営業務以外)

受託事業7件、収入同様、予算額0円計上は年度途中で発生した2件の事業

(2) 受託事業運営支出(ふるさと納税運営業務)

当会が負担していた返礼品送料の差額分の負担基準見直しによる。

(3) 販売事業支出

「a観光案内所-物販関連支出」は、物販品仕入費、及び宿泊OTA手数料

「b浄土平スカイアクセス」は、車両運行等経費

(4) 地域貢献活動事業支出「外貨獲得」

「ピーチホリデー・アップルホリデーをフックとした誘客促進事業」は、観光案内所装飾、イベント出展経費を含む。

「訪日需要拡大を見据えた誘客促進事業」は、事業内容を精査による訪日アンケートの事業廃止に伴う減

(5) 地域貢献活動事業支出「内発循環」

「ふるさと納税20億円プロジェクト」は、ふるさと納税推進業務委託で計上したため、決算額が当初見込みを下回った

(6) 地域貢献活動事業支出「関係人口拡大」

「域内外の組織や個人との連携支援」は、当会が将来を見据えて行った生成AIセミナー開催及び、人口動態データシステム導入による経費の増

(7) 地域貢献活動事業支出「認知・理解・共感獲得」

各種事業と連携して効率的な執行に努めた。ふくしまDCやゴッホ展向けに「おもてなしグルメマップ」を制作。

2 管理費支出

(1) 事務局

①給与手当	委託職員を除く事務局・案内所職員分
③福利厚生費	職員の健康診断経費等
⑦渉外費	慶弔規程に基づく支出、及び、関係先等との連携強化に伴う経費
⑧広告宣伝費	駅東西地下自由通路展示ブース、各種新聞広告等
⑨通信運搬費	郵送料、電話代
⑩消耗品費	事務局事務用品（複合機トナー等）
⑪新聞図書費	観光経済新聞、日経MJ購読料
⑭燃料費	社用車用2台分
⑯賃借料	複合機、社用車1台（ルーミー）、駐車場借上代
⑱火災保険料	前年度売上に応じた保険料となるため売上増加に伴う保険料の増。
⑲諸謝金費	委託スタッフ2名分及び弁護士、税理士、会計士の経費。
⑳租税公課	ふるさと納税分を除いた法人税及び固定資産税等。
㉑負担金	関係団体会費等
㉒委託金	委託スタッフ1名分
㉓支払手数料	Googleクラウド、勤怠管理システム、花見山ネット回線解約費、DMO更新登録用件必修研修受講費等

(2) 案内所

②旅費交通費	案内所職員の研修会参加旅費等
⑪賃借料	複合機、リソグラフ（再）

(3) 法人税、住民税など

法人税・地方法人税 1,218,100円事業税 351,300円市民税 135,000円

IV. 投資活動収支について

(株)インフォメーションネットワーク福島の株式譲渡による譲渡益

V. その他

ふるさと納税運営事業の受託以降、取扱額の増加に伴う金銭事故防止と組織としての信頼性向上を目的に特別監査制度を創設し公認会計士による外部監査を実施している。

通算6回目となる今年度の実施に伴う、昨年度の指摘事項の改善完了および新たな指摘事項はありません。（詳細は監査報告書次頁の報告参照）

正味財産増減計算書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
受取会費	3,390,000	3,485,000	△95,000
正会員受取会費	3,390,000	3,485,000	△95,000
事業収益	169,681,761	165,427,092	4,254,669
事業収入	169,681,761	165,427,092	4,254,669
受取補助金等	78,910,049	105,223,232	△26,313,183
受取地方公共団体補助金	78,910,049	105,163,232	△26,253,183
受取民間補助金		60,000	△60,000
負担金収入	150,000	0	150,000
受取負担金振替額	150,000		150,000
受取寄付金	100,000	4,758,117	△4,658,117
受取寄付金振替額	100,000	4,758,117	△4,658,117
雑収	2,068,303	2,957,625	△889,322
受取利息	749,515	86,628	662,887
雑経常収益計	1,318,788	2,870,997	△1,552,209
經常費用	254,300,113	281,851,066	△27,550,953
事業費	148,861,097	173,191,780	△24,330,683
仕給料手当	15,155,629	4,400,461	10,755,168
福厚生費	4,673,239	4,413,491	259,748
広利厚伝費	2,000	3,400	△1,400
旅告宣通費	11,373,133	14,614,006	△3,240,873
通費交搬費	7,526,609	4,695,230	2,831,379
消信運品費	31,476,747	35,820,827	△4,344,080
新開図書費	2,849,896	4,484,235	△1,634,339
修刷繕製本費	101,334	101,182	152
印刷製本費	1,207,358	919,738	287,620
燃熱水料費	6,422,954	10,455,953	△4,032,999
光熱水料費	6,377	3,732	2,645
賃借料	1,008,788	788,314	220,474
保険料	4,199,981	3,849,692	350,289
諸謝金	42,828	3,277	39,551
租税公課	11,764,665	12,716,207	△951,542
支払負担金	5,771,096	5,268,111	502,985
支払助成金	264,000	764,000	△500,000
委託手数料		55,640	△55,640
支払手数料	19,990,337	47,321,372	△27,331,035
雑替差	24,769,314	16,439,765	8,329,549
管理費	10,183		△10,183
給料手当	254,812	6,062,964	△5,808,152
退職給付費用	105,552,337	111,871,937	△6,319,600
職給厚生利費	61,233,575	67,457,146	△6,223,571
福利厚生利費	1,436,000	1,361,000	75,000
法定福議通費	467,051	312,947	154,104
会旅費交外通費	8,987,171	9,898,210	△911,039
涉信運搬費	357,667	726,767	△369,100
通価償却費	538,070	454,694	83,376
減耗品費	873,571	832,077	41,494
消開図書費	8,756,120	10,151,596	△1,395,476
新開図書費	2,086,082	1,577,708	508,374
	1,292,920	1,316,100	△23,180
	79,026	53,400	25,626

正味財産増減計算書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
修 繕 費	151,574	87,584	63,990
印 刷 費	316,800	398,200	△81,400
燃 料 費	111,403	157,296	△45,893
光 熱 水 料 費	383,574	421,572	△37,998
賃 借 料	1,068,870	1,050,077	18,793
地 代 家 賃 料	9,675,600	8,626,200	1,049,400
保 険 料	748,738	573,988	174,750
諸 謝 金	2,714,000	2,828,000	△114,000
租 税 公 課	82,950	138,590	△55,640
支 払 手 数 料	2,944,525	2,202,925	741,600
支 払 負 担 金 (管)	1,244,300	1,240,300	4,000
雑 費	2,750	5,560	△2,810
経 常 費 用 計	254,413,434	285,063,717	△30,650,283
評価損益等調整前当期経常増減額	△113,321	△3,212,651	3,099,330
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△113,321	△3,212,651	3,099,330
経 常 外 増 減 の 部			
経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
税引前当季一般正味財産増減額	△113,321	△3,212,651	3,099,330
法人税、住民税及び事業税	1,868,200	8,882,000	△7,013,800
当期一般正味財産増減額	△1,981,521	△12,094,651	10,113,130
一般正味財産期首残高	5,248,006	17,342,657	△12,094,651
一般正味財産期末残高	3,266,485	5,248,006	△1,981,521
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受 取 補 助 金 等	0	△4,758,117	4,758,117
受取地方公共団体補助金		△4,758,117	4,758,117
受 取 負 担 金	△150,000	0	△150,000
受 取 負 担 金	△150,000		△150,000
受 取 寄 付 金	△100,000	0	△100,000
受 取 寄 付 金	△100,000		△100,000
当期指定正味財産増減額	△250,000	△4,758,117	4,508,117
指定正味財産期首残高	825,000	5,583,117	△4,758,117
指定正味財産期末残高	575,000	825,000	△250,000
Ⅲ 正味財産期末残高	3,841,485	6,073,006	△2,231,521

貸 借 対 照 表

令和 8 年 3 月 31 日現在（決算）

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
流 動 資 産			
現 金 預 金	214,335,838	497,702,199	▲283,366,361
現 金	303,408	148,802	154,606
普 通 預 金	214,032,430	497,553,397	▲283,520,967
仮 払 金		15,000	▲15,000
未 収 金	210,154,563	54,670,827	155,483,736
前 払 金	1,372,406	1,377,918	▲5,512
棚 卸 資 産	4,497,202	3,562,527	934,675
流 動 資 産 合 計	430,360,009	557,328,471	▲126,968,462
固 定 資 産			
特 定 資 産			
出 資 金	575,000	675,000	▲100,000
特 定 資 産 合 計	575,000	675,000	▲100,000
そ の 他 固 定 資 産			
建 物 附 属 設 備	3,257,264	3,615,226	▲357,962
車 両 運 搬 具	1	1	
什 器 備 品	1,004,056	759,818	244,238
敷 設 金	2,929,200	2,929,200	
保 証 金	2,200,000	2,200,000	
出 資 金	50,000	50,000	
そ の 他 の 固 定 資 産	1,296,301	1,243,769	52,532
長 期 前 払 金	1,036,690		1,036,690
リ ー ス 資 産	1,075,140		1,075,140
そ の 他 固 定 資 産 合 計	12,848,652	10,798,014	2,050,638
固 定 資 産 合 計	13,423,652	11,473,014	1,950,638
資 産 合 計	443,783,661	568,801,485	▲125,017,824
II 負 債 の 部			
流 動 負 債			
未 払 金	18,785,923	36,719,225	▲17,933,302
未 払 法 人 税 等	1,868,200	8,882,000	▲7,013,800
預 り 金	408,952,893	508,298,054	▲99,345,161
未 払 消 費 税 等	1,755,200	2,800,200	▲1,045,000
流 動 負 債 合 計	431,362,216	556,699,479	▲125,337,263
固 定 負 債			
退 職 給 付 引 当 金	7,465,000	6,029,000	1,436,000
リ ー ス 債 務	1,114,960		1,114,960
固 定 負 債 合 計	8,579,960	6,029,000	2,550,960
負 債 合 計	439,942,176	562,728,479	▲122,786,303
III 正 味 財 産 の 部			
指 定 正 味 財 産			
負 担 金		150,000	▲150,000
寄 付 金	575,000	675,000	▲100,000
指 定 正 味 財 産 合 計	575,000	825,000	▲250,000
一 般 正 味 財 産	3,266,485	5,248,006	▲1,981,521
正 味 財 産 合 計	3,841,485	6,073,006	▲2,231,521
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	443,783,661	568,801,485	▲125,017,824

収 支 計 算 書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
事業活動収入				
会費収入	3,300,000	3,390,000	▲90,000	
正会員会費収入	3,300,000	3,390,000	▲90,000	
事業収入	13,863,200	169,681,761	▲155,818,561	
事業収入	13,863,200	169,681,761	▲155,818,561	
補助金等収入	83,655,000	78,910,049	4,744,951	
地方公共団体補助金収入	83,655,000	78,910,049	4,744,951	
雑収入	0	2,068,303	▲2,068,303	
受取利息収入		749,515	▲749,515	
雑収入		1,318,788	▲1,318,788	
事業活動収入計	100,818,200	254,050,113	▲153,231,913	
事業活動支出				
事業費支出	33,410,000	148,838,077	▲115,428,077	
仕料手当支出	6,700,000	15,157,384	▲8,457,384	
給料手当支出		4,673,239	▲4,673,239	
福利厚生費支出		2,000	▲2,000	
広告宣伝費	4,500,000	11,373,133	▲6,873,133	
旅費交通費支出	4,000,000	7,526,609	▲3,526,609	
通信運搬費支出	1,560,000	31,476,747	▲29,916,747	
消耗品費支出	700,000	2,848,141	▲2,148,141	
新聞図書費	100,000	101,334	▲1,334	
修繕費支出	300,000	1,207,358	▲907,358	
印刷製本費支出	5,100,000	6,422,954	▲1,322,954	
燃料費支出		6,377	▲6,377	
光熱水料費支出	900,000	1,008,788	▲108,788	
賃借料支出	700,000	4,199,981	▲3,499,981	
保険料支出		42,828	▲42,828	
諸謝金支出		11,764,665	▲11,764,665	
租税公課支出		5,771,096	▲5,771,096	
負担金支出		264,000	▲264,000	
委託費支出	7,450,000	19,990,337	▲12,540,337	
支払手数料	1,400,000	24,769,314	▲23,369,314	
雑支出		231,792	▲231,792	
管理費支出	106,123,000	102,030,255	4,092,745	
給料手当支出	62,597,000	61,233,575	1,363,425	
退職金支出	1,596,000		1,596,000	
福利厚生費支出		467,051	▲467,051	
法定福利費	11,320,000	8,987,171	2,332,829	
会議費支出	400,000	357,667	42,333	
旅費交通費支出	500,000	538,070	▲38,070	
渉外費	680,000	873,571	▲193,571	
通信運搬費支出	1,350,000	8,756,120	▲7,406,120	
消耗品費支出		1,292,920	▲1,292,920	
新聞図書費	20,000	79,026	▲59,026	
修繕費支出	100,000	151,574	▲51,574	
印刷製本費支出	350,000	316,800	33,200	
燃料費支出	100,000	111,403	▲11,403	
光熱水料費支出	450,000	383,574	66,426	
賃借料支出	1,500,000	1,068,870	431,130	
地代家賃	8,400,000	9,675,600	▲1,275,600	
保険料支出	560,000	748,738	▲188,738	
諸謝金支出	10,500,000	2,714,000	7,786,000	
租税公課支出	2,200,000	82,950	2,117,050	

収 支 計 算 書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
負 担 金 支 出	2,000,000	1,244,300	755,700	
支 払 手 数 料	1,500,000	2,944,525	▲1,444,525	
雑 支 出		2,750	▲2,750	
他会計への繰入金支出	0	1,868,200	▲1,868,200	
法人税、住民税等		1,868,200	▲1,868,200	
事業活動支出計	139,533,000	252,736,532	▲113,203,532	
事業活動収支差額	▲38,714,800	1,313,581	▲40,028,381	
Ⅱ 投資活動収支の部				
投資活動収入				
特定資産取崩収入	0	100,000	▲100,000	
出資金返却収入		100,000	▲100,000	
投資活動収入計	0	100,000	▲100,000	
投資活動支出				
固定資産取得支出	0	2,965,140	▲2,965,140	
什器備品購入支出		837,100	▲837,100	
その他固定資産購入支出		1,091,350	▲1,091,350	
長期前払費用支出		1,036,690	▲1,036,690	
投資活動支出計	0	2,965,140	▲2,965,140	
投資活動収支差額	0	▲2,865,140	2,865,140	
Ⅲ 財務活動収支の部				
財務活動支出				
リース債務返済支出	0	79,640	▲79,640	
リース債務返済支出		79,640	▲79,640	
財務活動支出計	0	79,640	▲79,640	
財務活動収支差額	0	▲79,640	79,640	
Ⅳ 予備費支出				
当期収支差額	▲38,714,800	▲1,631,199	▲37,083,601	
前期繰越収支差額	0	628,992	▲628,992	
次期繰越収支差額	▲38,714,800	▲1,002,207	▲37,712,593	

正味財産増減計算書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：収益事業

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益益			
事業収益益	147,215,178	149,712,880	△2,497,702
事業収益入	147,215,178	149,712,880	△2,497,702
雑収益益	913,722	2,697,556	△1,783,834
受取利息	674,587	65,604	608,983
雑収益益計	239,135	2,631,952	△2,392,817
經常費用	148,128,900	152,410,436	△4,281,536
事業費用	92,716,099	86,662,718	6,053,381
仕入	12,692,930	1,003,459	11,689,471
広告宣伝費	3,774,361	5,560,961	△1,786,600
旅交通搬費	207,003	31,762	175,241
通運費	29,552,869	33,785,112	△4,232,243
消耗品費	820,457	2,653,113	△1,832,656
修繕費	347,160	167,640	179,520
印刷製本料	1,660,611	3,920,400	△2,259,789
光熱水借料	190,305	62,679	127,626
賃借料	1,895,740	1,514,540	381,200
諸租税公課	7,600,000	8,867,000	△1,267,000
委託手数料	4,500,110	5,315,844	△815,734
支払手数料	8,733,800	4,947,450	3,786,350
管 理 費	20,597,398	12,827,848	7,769,550
給料手当	143,355	6,004,910	△5,861,555
法定福利費	45,255,851	36,420,614	8,835,237
法渉信運搬費	31,131,967	23,864,505	7,267,462
通価償却費	3,866,522	2,474,552	1,391,970
減耗品費	3,000		3,000
消費借料	7,723,761	9,201,546	△1,477,785
賃代家賃料	857,281	430,057	427,224
支払手数料		78,494	△78,494
經常費用計	500		△500
經常費用計	1,399,200	349,800	1,049,400
經常費用計	274,120	21,160	252,960
經常増減額	137,971,950	123,083,332	14,888,618
評価損益等調整当座増減額	10,156,950	29,327,104	△19,170,154
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	10,156,950	29,327,104	△19,170,154
經常外増減の部			
經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	10,156,950	29,327,104	△19,170,154
法人税、住民税及び事業税	1,868,200	8,882,000	△7,013,800
当期一般正味財産増減額	8,288,750	20,445,104	△12,156,354
一般正味財産期首残高	78,478,312	58,033,208	20,445,104
一般正味財産期末残高	86,767,062	78,478,312	8,288,750
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0

正味財産増減計算書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：収益事業

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅲ 正 味 財 産 期 末 残 高	86,767,062	78,478,312	8,288,750

貸 借 対 照 表

令和 8 年 3 月 31 日現在（決算）

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：収益事業

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
流 動 資 産			
現 金 預 金	206,687,099	478,232,646	▲271,545,547
現 金	55,500	57,864	▲2,364
普 通 預 金	206,631,599	478,174,782	▲271,543,183
未 収 金	196,105,622	47,551,034	148,554,588
前 払 金	194,113	116,600	77,513
棚 卸 資 産	4,497,202	3,562,527	934,675
他 会 計 貸 借 勘 定	91,696,110	72,671,694	19,024,416
流 動 資 産 合 計	499,180,146	602,134,501	▲102,954,355
固 定 資 産			
そ の 他 固 定 資 産			
建 物 附 属 設 備	1,828,299	2,028,719	▲200,420
什 器 備 品	335,431	505,684	▲170,253
敷 金	288,000	288,000	
そ の 他 の 固 定 資 産	928,045	775,253	152,792
長 期 前 払 金	129,190		129,190
そ の 他 固 定 資 産 合 計	3,508,965	3,597,656	▲88,691
固 定 資 産 合 計	3,508,965	3,597,656	▲88,691
資 産 合 計	502,689,111	605,732,157	▲103,043,046
II 負 債 の 部			
流 動 負 債			
未 払 金	5,684,226	11,163,905	▲5,479,679
未 払 法 人 税 等	1,868,200	8,882,000	▲7,013,800
預 り 金	407,748,323	504,291,340	▲96,543,017
未 払 消 費 税 等	621,300	2,916,600	▲2,295,300
流 動 負 債 合 計	415,922,049	527,253,845	▲111,331,796
負 債 合 計	415,922,049	527,253,845	▲111,331,796
III 正 味 財 産 の 部			
一 般 正 味 財 産	86,767,062	78,478,312	8,288,750
正 味 財 産 合 計	86,767,062	78,478,312	8,288,750
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	502,689,111	605,732,157	▲103,043,046

収 支 計 算 書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日 (決算) まで

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：収益事業

(単位： 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
事業活動収入				
事業収入	0	147,215,178	▲147,215,178	
雑収入	0	913,722	▲913,722	
受取利息収入		674,587	▲674,587	
雑収入		239,135	▲239,135	
事業活動収入計	0	148,128,900	▲148,128,900	
事業活動支出				
事業費支出	4,000,000	92,716,099	▲88,716,099	
仕入	4,000,000	12,694,685	▲8,694,685	
広告宣伝費		3,774,361	▲3,774,361	
旅費交通費		207,003	▲207,003	
通信運搬費		29,552,869	▲29,552,869	
消耗品費		818,702	▲818,702	
修繕費		347,160	▲347,160	
印刷製本費		1,660,611	▲1,660,611	
光熱水料費		190,305	▲190,305	
賃借料		1,895,740	▲1,895,740	
諸謝金		7,600,000	▲7,600,000	
租税公課		4,500,110	▲4,500,110	
委託費		8,733,800	▲8,733,800	
支払手数料		20,597,398	▲20,597,398	
雑支出		143,355	▲143,355	
管理費支出	0	44,398,570	▲44,398,570	
給料手当		31,131,967	▲31,131,967	
法定福利費		3,866,522	▲3,866,522	
渉外費		3,000	▲3,000	
通信運搬費		7,723,761	▲7,723,761	
地代		1,399,200	▲1,399,200	
支払手数料		274,120	▲274,120	
他会計への繰入金	0	1,868,200	▲1,868,200	
法人税、住民税等		1,868,200	▲1,868,200	
事業活動支出計	4,000,000	138,982,869	▲134,982,869	
事業活動収支差額	▲4,000,000	9,146,031	▲13,146,031	
II 投資活動収支の部				
投資活動支出				
固定資産取得	0	768,590	▲768,590	
その他固定資産購入		639,400	▲639,400	
長期前払費用		129,190	▲129,190	
投資活動支出計	0	768,590	▲768,590	
投資活動収支差額	0	▲768,590	768,590	
III 財務活動収支の部				
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
当期収支差額	▲4,000,000	8,377,441	▲12,377,441	
前期繰越収支差額	0	74,880,656	▲74,880,656	
次期繰越収支差額	▲4,000,000	83,258,097	▲87,258,097	

財 産 目 録

令和 8 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：事業全体

(単位： 円)

貸 借 対 照 表 科 目	場 所 ・ 物 量 等	使 用 目 的 等	金 額
(流 動 資 産)			
現 通 預 金	手元有り高		303,408
	東邦銀行西福島支店	438365	2,914,874
	東邦銀行西福島支店	440165	6,360,735
	東邦銀行西福島支店	496632	760,522
	東邦銀行西福島支店	498210	3,725,435
	東邦銀行西福島支店	501873	200,238,272
	ゆうちょ銀行	18290-17736251	32,592
	郵便振替口座	02270-5-125258	
未 収 金	福島市	補助金 委託料	207,476,573
	その他	会費、幹旋手数料他	2,677,990
前 払 金	株式会社設備設計事務	4月分家賃、駐車料金	334,400
	テルウェル東日本	火災通報装置保守料	66,000
	半澤法律事務所	顧問料	396,000
	アドプロダクション	国籍調査板	88,000
	福島県茨町駐車場	4月分 駐車場料金	9,900
	手作業	令和8年度補助事業費	165,000
	進和ビジネス㈱	訪問修理料	77,513
	その他	賛助会費、ボランティア保険他	235,593
棚 卸 資 産	ももりんグッズ		4,497,202
流 動 資 産 合 計			430,360,009
(固 定 資 産)			
特 定 資 産			
そ の 他 固 定 資 産			
出 資 金	福島市観光開発㈱	176株	575,000
建 物 附 属 設 備	事務所	事務所工事、自動ドア、設備工事	3,257,264
車 両 運 搬 具	サクシード		1
什 器 備 品	耐火金庫、プリンター		1,004,056
敷 金	東北総合サービス㈱	事務所敷金	2,145,000
	酪農会館	事務所敷金	771,000
	㈱スワロートアー	駐車場敷金	13,200
保 証 金	(社)全国旅行業協会	共済業務保証金	2,200,000
出 資 金	福島県旅行業協組	1口	50,000
そ の 他 の 固 定 資 産	一括償却資産	パソコン他	1,296,301
長 期 前 払 金	㈱ワナドットコム	接客さくらさん初期費用	907,500
	進和ビジネス㈱	訪問修理代	129,190
リ ー ス 資 産	三菱ビジネスリース㈱	カラー複合機	1,075,140
固 定 資 産 合 計			13,423,652
資 産 合 計			443,783,661
(流 動 負 債)			
未 払 金	ふるさと納税事業者	返礼品代、発送負担分	2,349,796
	福島市	MICE事業返還金	556,285
	その他	給料、印刷物・事務用・消耗品他	15,879,842
未 払 法 人 税 等	福島税務署 他	確定法人税、県民税、市民税	1,868,200
預 り 金	商品券、チケット	宿泊補助券、フルーツチケット	505,000
	従業員	社会保険料、所得税、住民税	898,096
	ふるさと納税	未発送返礼品、発送代、ポイント代	407,549,797
未 払 消 費 税 等			1,755,200
流 動 負 債 合 計			431,362,216
(固 定 負 債)			
退 職 給 付 引 当 金			7,465,000

財 産 目 録

令和 8 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：事業全体

(単位： 円)

貸 借 対 照 表 科 目	場 所 ・ 物 量 等	使 用 目 的 等	金 額
リース債務	三菱IC'シネマス	カラー複合機	1,114,960
固定負債合計			8,579,960
負債合計			439,942,176
正味財産			3,841,485

財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会
事業名：事業全体

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年12月1日 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

其他有価証券

時価のないもの 移動平均法による原価法

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっている。

(4) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物、平成28年4月1日以降に取得した附属設備、構築物は定額法）を採用しています。

無形固定資産 定額法によっている。

(5) 引当金の計上基準

退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上している。なお、退職給付債務は、期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

(6) リース取引関係

(1) ファイナンス、リース取引

当期末

1年内 238,920円

1年超 876,040円 合計1,114,960円

(2) オペレーティング、リース取引

オペレーティング、リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

当期末

1年内 757,020円

1年超 0円 合計757,020円

(7) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし

財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：事業全体

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
出資金 その他固定資産より振替	675,000	0	100,000	575,000
合 計	675,000	0	100,000	575,000

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	8,252,395	4,995,131	3,257,264
車輛運搬具	1,490,550	1,490,549	1
什器備品	3,161,460	2,157,404	1,004,056
リース資産	1,194,600	119,460	1,075,140
その他の固定資産	4,777,280	3,480,979	1,296,301
合 計	18,876,285	12,243,523	6,632,762

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
観光運営補助金	福島市	0	70,670,493	70,670,493	0	一般正味財産
MICE補助金	福島市	0	8,807,841	8,807,841	0	一般正味財産
MICE補助金基金予定	福島市	0	0	556,285	△556,285	一般正味財産
インバウンド返還	福島県	12,000	0	12,000	0	
合 計		12,000	79,478,334	80,046,619	△556,285	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
	0
合 計	0

9. 重要な後発事象

(1)

該当なし

10. 退職給付関係

(1)採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2)退職給付債務及びその内訳

①退職給付債務 7,465,000円

財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会
事業名：事業全体

②退職給付引当金 7, 4 6 5, 0 0 0 円

(3)退職給付費用に関する事項

①勤務費用 1, 4 3 6, 0 0 0 円

②退職給付費用 1, 4 3 6, 0 0 0 円

附属明細書

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会
事業名：事業全体

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載があるため省略している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	6,029,000	1,460,000	24,000	0	7,465,000

監 査 報 告

一般社団法人福島市観光コンベンション協会定款第45条第1項の規定に基づき、令和7年度（令和7年4月1日～令和8年3月31日）の事業報告書、収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、その他の付属書類について監査した結果、適正かつ正確であることを認めます。

令和8年5月26日

一般社団法人 福島市観光コンベンション協会

監 事

金水晶酒造株式会社

代表取締役社長

齋藤 湧生



監 事

寿楽園茶舗

専務

橋本 圭介

